

資 料 編

【資料1】ごみ発生量及び処理量の見込み

- 第1節 実績 資－1～6
- 第2節 将来推計の方法 資－7
- 第3節 将来推計（現状推移） 資－8～24
- 第4節 ごみ発生量及び処理量の見込み（減量効果見込み）
. 資－25～40

【資料2】廃棄物行政の歩み 資－41～46

【資料3】土地利用状況 資－47～48

※平成31年4月30日の翌日から新元号となる予定です。

本編33ページ「本市における将来ごみ排出量の目標」と資料編対象ページの関連

表の項目		資料編対象位置	
		ページ	対象箇所
基準年度 平成22年度平均排出量			
・家庭系ごみ	資-6	表1-12	収集ごみ(g/人・日)
	資-1	表1-1	収集ごみの計(t/年)
・事業系ごみ	資-6	表1-12	直接搬入ごみ(g/人・日)
	資-1	表1-2	直接搬入ごみの計(t/年)
目標年度平成33年度平均排出量(現状推移)			
・家庭系ごみ	資-12	表3-5	収集ごみ(g/人・日)
	資-17	表3-10	収集ごみの計(t/年)
・事業系ごみ	資-12	表3-5	直接搬入ごみ(g/人・日)
	資-17	表3-10	直接搬入ごみの計(t/年)
目標年度平成33年度平均排出量(目標値)			
・家庭系ごみ	資-27	表4-2	収集ごみ計(g/人・日)
	資-27	表4-2	収集ごみ計(t/年)
・事業系ごみ	資-28	表4-3	直接搬入ごみ全体(g/人・日)
	資-28	表4-3	直接搬入ごみ全体(t/年)

本編34ページ「表4-4-1 目標値に対する結果まとめ」と資料編対象ページの関連

表の4-4-1の 項目		資料編対象位置	
		ページ	対象箇所
総排出量	資-26	表4-1	総排出量
収集ごみ	資-27	表4-2	収集ごみ
直接搬入ごみ	資-28	表4-3	直接搬入ごみ
集団資源回収	資-29	表4-4	集団資源回収
剪定枝等	資-30	表4-5	剪定枝＋落ち葉・草
再生利用量	資-35	表4-10	総資源化量
最終処分量	資-36	表4-11	最終処分量

本編35ページ「表4-4-2 家庭系ごみ量及び事業系ごみ量の予測結果」と資料編対象ページ関連

表の4-4-2の 項目		資料編対象位置	
		ページ	対象箇所
家庭系	資-26	表4-1	収集ごみ
事業系	資-26	表4-1	直接搬入ごみ

【資料1】 ごみ発生量及び処理量の見込み

第1節 実績

1. 人口

本市の平成15年度から平成28年度までの年度末人口は、図1-1に示したとおりです。近年の人口はほぼ横ばいで推移していましたが、平成25年度以降、微減傾向にあります。

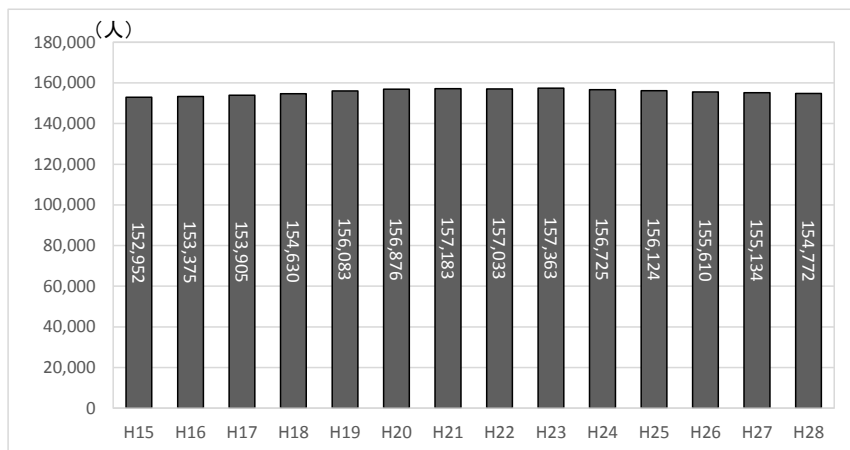


図1-1 人口推移

2. ごみの排出量

平成15年度から平成28年度のごみの排出量は、表1-1～表1-2に示すとおりです。

(1) 収集ごみ量（家庭系ごみ量）

収集ごみ量は、全体として概ね減少傾向にあります。この内、可燃ごみ及び不燃ごみは減少傾向にあります。粗大可燃ごみ及び粗大不燃ごみは増加傾向にあります。

表1-1 収集ごみの推移

	(t/年)													
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
可燃ごみ	19,864	18,824	19,272	19,433	19,143	19,334	19,022	18,570	18,698	18,694	18,234	18,311	18,378	18,027
不燃ごみ	5,835	5,184	5,300	5,278	4,981	4,897	4,950	5,106	5,148	5,096	5,091	4,917	4,987	4,812
粗大可燃	151	161	180	186	177	176	179	212	211	185	205	192	203	202
粗大不燃	117	109	120	120	126	133	127	141	139	132	126	125	148	143
合計	25,968	24,278	24,873	25,017	24,427	24,540	24,278	24,030	24,196	24,107	23,656	23,545	23,716	23,184

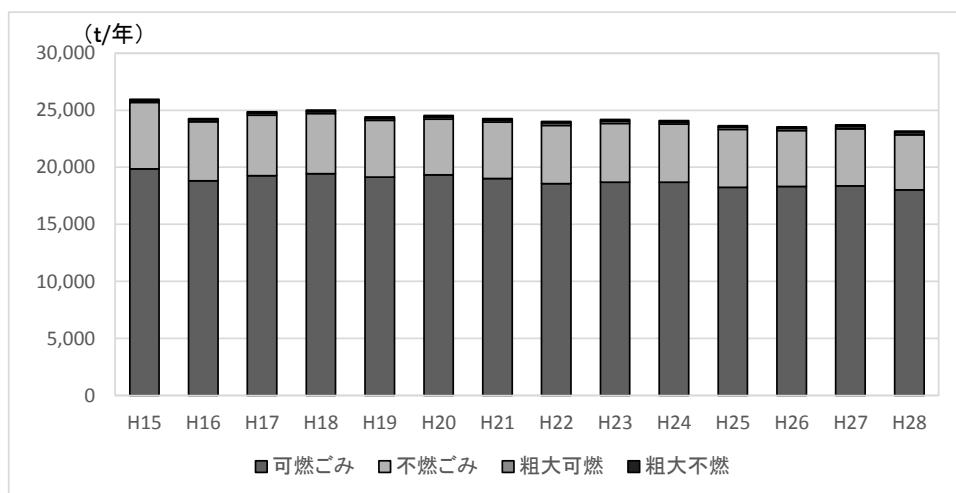


図1-2 収集ごみの推移

(2) 直接搬入ごみ量（事業系ごみ量）

直接搬入ごみ量は、可燃ごみ及び不燃ごみ共に減少傾向にあります。

表 1-2 直接搬入ごみの推移

(t /年)														
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
可燃ごみ	12,601	12,576	12,800	12,228	12,288	12,101	12,035	11,735	11,645	12,204	12,495	11,545	9,948	8,716
不燃ごみ	933	759	908	819	809	799	919	874	864	902	860	632	641	682
合計	13,534	13,335	13,708	13,047	13,098	12,900	12,954	12,609	12,509	13,106	13,354	12,177	10,589	9,398

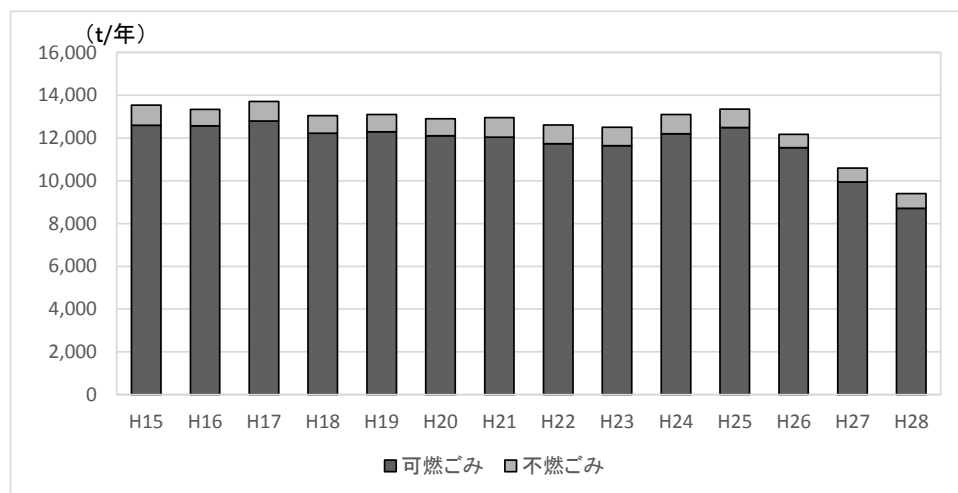


図 1-3 直接搬入ごみの推移

(3) 集団資源回収量

集団資源回収量は、年々減少傾向にあります。内訳では、紙類が大きく減少しています。

表 1-3 集団資源回収の推移

(t /年)															
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
繊維類	469	493	505	528	520	491	507	511	533	486	452	394	380	343	
紙類	6,842	7,029	6,972	6,657	6,411	5,935	5,460	5,189	5,056	4,830	4,577	4,066	3,619	3,325	
金属類	503	535	528	529	475	433	449	438	458	444	445	423	406	387	
びん類	1,188	1,165	1,109	1,110	1,120	1,122	1,111	1,134	1,102	1,079	1,054	1,036	1,012	964	
空き缶	675	637	625	595	547	528	496	477	446	418	390	361	334	319	
ペットボトル	315	363	359	367	383	378	366	370	371	363	346	321	305	293	
合計	9,991	10,221	10,098	9,785	9,457	8,888	8,390	8,118	7,967	7,620	7,265	6,601	6,055	5,631	

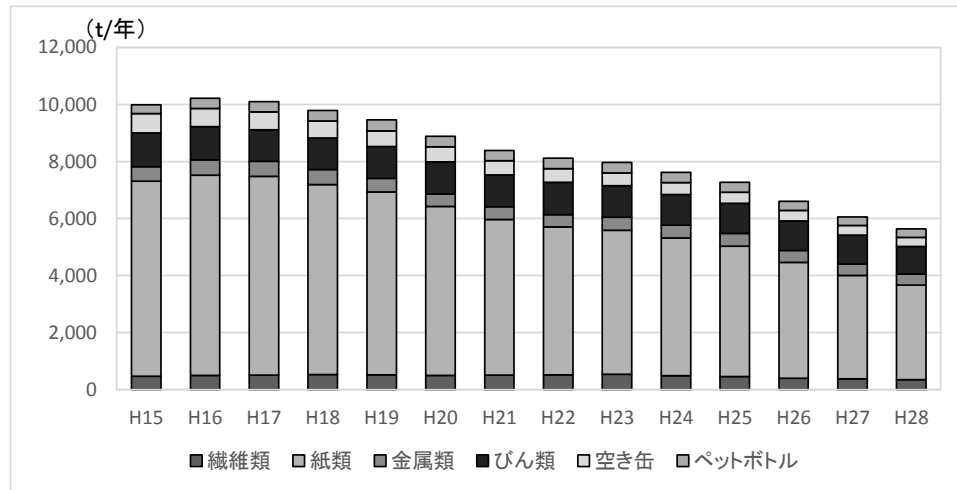


図 1-4 集団資源回収の推移

集団回収団体は、平成 28 年度には 368 団体あり、年間 4,845 回の回収を行っています。

表 1-4 集団回収団体数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
実施団体 (団体)	342	341	344	349	351	354	360	361	360	360	365	366	366	368
実施回数 (回)	4,015	4,330	4,426	4,497	4,498	4,574	4,659	4,638	4,726	4,751	4,815	4,865	4,843	4,845

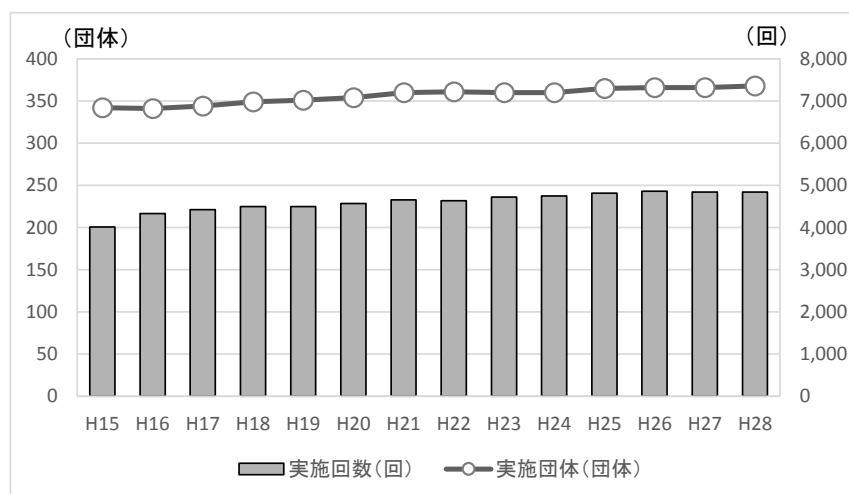


図 1-5 集団回収団体数の推移

(4) 剪定枝、落ち葉・草の量

剪定枝、落ち葉・草の合計は、年々増加しています。

表 1-5 剪定枝、落ち葉・草の推移

(t / 年)															
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
剪定枝	収集	227	448	662	766	830	1,081	1,380	1,598	1,625	1,592	1,574	1,560	1,602	1,582
	持込	527	972	1,354	1,715	1,909	2,080	2,208	2,235	2,319	2,605	2,497	2,825	3,118	3,134
	小計	754	1,420	2,016	2,481	2,738	3,161	3,588	3,833	3,943	4,197	4,071	4,385	4,720	4,715
落ち葉・草	収集	382	293	359	454	468	475	201	-	-	-	-	-	-	-
	持込	329	274	329	374	427	459	413	399	372	321	271	330	339	387
	小計	710	567	689	829	895	934	614	399	372	321	271	330	339	387
合計		1,464	1,986	2,705	3,310	3,633	4,095	4,202	4,232	4,316	4,518	4,341	4,715	5,059	5,102

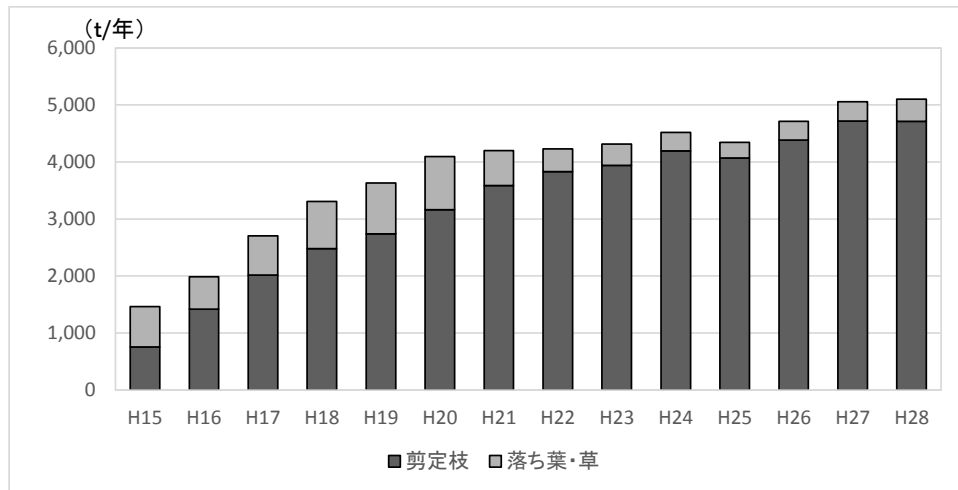


図 1-6 剪定枝、落ち葉・草の推移

(5) 小型家電、その他

小型家電及びその他のごみ量は、年々増加しています。

表 1-6 小型家電及びその他の推移

(t / 年)														
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
小型家電	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	62	57	68
その他	-	-	-	-	-	-	-	59	51	51	46	54	58	58

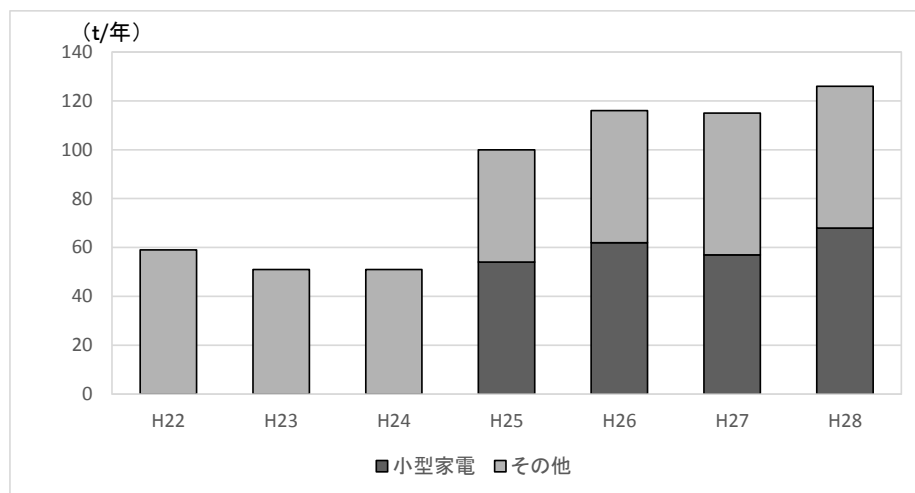


図 1-7 小型家電及びその他の推移

3. ごみ処理状況

平成 15 年度から平成 28 年度のごみ処理状況は、次のとおりです。

(1) 焼却処理量

焼却処理の対象となるのは、収集可燃ごみ、収集粗大可燃ごみ、直接搬入可燃ごみであり、焼却対象量は、表 1-7 に示したとおりで年々減少傾向にあります。

ここで、焼却対象量と実焼却量の数値が違うのは、搬入されたごみは施設のピットに受け入れ、そこからクレーンでつかみ取って焼却炉に投入するため、ごみ中の水分が抜け落ちたり、処理に時間的なズレが発生するためです。また、平成 26～28 年度は、一部民間業者に処理委託しているため、焼却対象量と実焼却量の乖離が大きくなっています。

表 1-7 焼却処理量

	(t/年)													
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
収集可燃ごみ	19,864	18,824	19,272	19,433	19,143	19,334	19,022	18,570	18,698	18,694	18,234	18,311	18,378	18,027
収集粗大可燃ごみ	151	161	180	186	177	176	179	212	211	185	205	192	203	202
直接搬入可燃ごみ	12,601	12,576	12,800	12,228	12,288	12,101	12,035	11,735	11,645	12,204	12,495	11,545	9,948	8,716
焼却対象量	32,616	31,561	32,253	31,846	31,608	31,610	31,236	30,517	30,554	31,083	30,933	30,048	28,529	26,945
実焼却量	30,798	30,533	29,820	30,352	29,164	28,701	29,250	27,561	28,379	29,001	28,662	25,589	24,485	22,612
焼却残渣	3,389	3,398	3,224	3,340	3,261	3,310	3,305	3,205	3,182	3,195	3,179	2,591	2,533	2,342

※H26～H28 年度の実焼却量は、野田市清掃工場における焼却量である（民間処理委託分は含まない）。

(2) 破碎・選別処理量

破碎・選別処理の対象は、収集不燃ごみ、収集粗大不燃ごみ、直接搬入不燃ごみであり、破碎・選別処理量は、表 1-8 に示したとおりで概ね減少傾向にあります。

表 1-8 破碎・選別処理量

	(t/年)													
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
収集不燃ごみ	5,835	5,184	5,300	5,278	4,981	4,897	4,950	5,106	5,148	5,096	5,091	4,917	4,987	4,812
収集粗大不燃ごみ	117	109	120	120	126	133	127	141	139	132	126	125	148	143
直接搬入不燃ごみ	933	759	908	819	809	799	919	874	864	902	860	632	641	682
破碎・選別処理量	6,886	6,052	6,328	6,217	5,917	5,829	5,996	6,122	6,151	6,129	6,077	5,674	5,777	5,637

また、破碎・選別処理後の内訳は、表 1-9 に示したとおりで、廃プラスチックを除いた資源化、廃プラ資源化量、リサイクル展示品（不燃）はともに減少傾向にあります。

表 1-9 破碎・選別処理後の内訳

	(t/年)													
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
資源化（廃プラ除く）	549	569	560	530	487	467	455	132	131	126	355	303	279	265
廃プラ資源化	1,951	1,851	1,877	1,919	1,909	1,887	1,923	3,702	3,872	3,637	1,678	1,024	1,754	1,659
リサイクル展示品（不燃）	18	21	20	15	15	13	15	12	17	17	7	3	2	5
小型家電（ビックアップ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	60	61	69
資源化不適物	4,367	3,611	3,870	3,754	3,506	3,470	3,603	2,277	2,132	2,349	3,717	4,262	3,625	3,635

※H22～H24 は、不燃物処理施設が稼働を停止していたため、民間処理業者への処理委託量を廃プラ資源化量として計上している。

(3) 最終処分量

最終処分の対象は、資源化不適物と焼却残渣(エコセメント分を除く。)であり、最終処分量は表 1-10 に示したとおりで、概ね減少傾向にあります。

表 1-10 最終処分量

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
資源化不適物	4,367	3,611	3,870	3,754	3,506	3,470	3,603	2,277	2,132	2,349	3,717	4,262	3,625	3,635
焼却残渣(エコセメント除く)	2,869	3,098	2,924	3,041	2,977	3,024	3,084	2,956	3,037	3,195	3,179	2,591	2,533	2,342
最終処分量	7,236	6,709	6,794	6,795	6,483	6,493	6,687	5,233	5,169	5,543	6,896	6,853	6,158	5,976

(t/年)

(4) 資源化

集団資源回収を含めた総資源化量(再生利用量)は、表 1-11 に示したとおりで、年々減少傾向にあります。その要因は、集団資源回収量が年々減少していることにあります。

表 1-11 総資源化量(再生利用量)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
集団資源回収物	9,991	10,221	10,098	9,785	9,457	8,888	8,390	8,118	7,967	7,620	7,265	6,601	6,055	5,631
資源化(廃プラ除く)	549	569	560	530	487	467	455	132	131	126	355	303	279	265
廃プラ資源化	1,951	1,851	1,877	1,919	1,909	1,887	1,923	3,702	3,872	3,637	1,678	1,024	1,754	1,659
リサイクル展示品	18	21	20	15	15	13	15	12	17	17	17	14	14	12
可燃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	11	12	7
不燃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3	2	5
剪定枝等リサイクル	1,464	1,986	2,705	3,310	3,633	4,095	4,202	4,232	4,316	4,518	4,341	4,715	5,059	5,102
エコセメント量	520	301	301	299	284	287	222	249	145	-	-	-	-	-
小型家電(拠点回収)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	62	57	68
小型家電(ピックアップ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64	60	61	69
その他	-	-	-	-	-	-	-	59	51	51	46	54	58	58
空き缶回収機	190	177	114	97	110	58	52	45	30	27	18	-	-	-
総資源化量	14,684	15,125	15,676	15,955	15,895	15,694	15,258	16,549	16,528	15,998	13,838	12,833	13,338	12,863
再生利用率	29%	30%	31%	31%	31%	31%	31%	34%	34%	32%	28%	27%	29%	30%

(t/年)

※H22～H24は、不燃物処理施設が稼働を停止していたため、民間処理業者への処理委託量を廃プラ資源化量として計上している。

(5) 排出原単位(1人1日当たりの排出量)

ごみの将来予測等に使用する使用する原単位(g/人・日)は、年間の排出量を1人1日あたりに換算したものです。

$$[\text{排出原単位(g/人・日)} = \text{排出量(t)} \div 365^{\ast} (\text{日}) \div \text{人口(人)} \times 10^6]$$

※閏年は366日で除す。

平成15年度から平成28年度の14年間の実績は、表 1-12 に示したとおりで、総排出原単位は減少傾向にあり、平成28年度では769(g/人・日)となっています。

表 1-12 排出原単位

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
収集ごみ	464	434	443	443	428	429	423	419	420	421	415	415	418	410
直接搬入ごみ	242	238	244	231	229	225	226	220	217	229	234	214	186	166
集団資源回収物	178	183	180	173	166	155	146	142	138	133	127	116	107	100
剪定枝、落ち葉・草	26	35	48	59	64	72	73	74	75	79	76	83	89	90
小型家電	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
その他	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1
総排出量	910	890	915	906	886	881	868	856	851	864	855	830	802	769

(g/人日)

第2節 将来推計の方法

1. 推計方法

人口やごみの将来推計は、「ごみ処理基本計画策定指針」(平成 28 年 9 月環境省)や「ごみ処理施設の構造指針解説」(平成 2 年 11 月(社)全国都市清掃会議)に記述されているトレンド法により予測(推計)を行います。

この予測式には様々なものがありますが、ここでは一般的に用いられている直線式、分数、べき乗、指数曲線、ロジスティック曲線により行い、予測値の結果から相関だけではなく、現状に近い数値を採用します。

<予測式>

$$\left(\begin{array}{l} \text{直 線;} y = a x + b \\ \text{分 数;} y = a / x + b \\ \text{べき乗;} y = a x^b \\ \text{指数曲線;} y = a b^x \\ \text{ロジスティック曲線;} y = k / (1 + a \cdot \exp(-bx)) \\ \text{(ここで、} a, b \text{は変数、} x \text{は計画年度)} \end{array} \right)$$

2. 基準数値

ごみ排出量の推計は、平成 15 年度から平成 28 年度までの 14 年間の実績を基に、表 1-12 に示した原単位を用いて行います。

3. 個別の推計方法

- ① ごみ排出量の推計については、表 1-12 に示したように「収集ごみ」、「直接搬入ごみ」、「集団資源回収」、「剪定枝・落ち葉・草」、「小型家電」、「その他」について行います。
- ② それぞれについて、予測の中で最も適したものを採用します。
- ③ ②の結果から、個別の量は平成 24~28 年度の割合の平均値を用いて種類別に按分します。この原単位に、別に推計した将来人口を乗じて、年間の処理量を算出します。

収集ごみ ⇒ 予測 ⇒ 将来推計 ⇒ 可燃ごみ、不燃ごみ、粗大可燃ごみ、粗大不燃ごみに按分。

直接搬入ごみ ⇒ 予測 ⇒ 将来推計 ⇒ 可燃ごみ、不燃ごみに按分。

集団資源回収物(紙類) ⇒ 予測 ⇒ 将来推計

集団資源回収物(繊維類、紙類、金属類、空き缶、ペットボトル) ⇒ 平成 24~28 年度の平均値。

集団資源回収物(びん類) ⇒ 平成 24~28 年度の平均値。

剪定枝、落ち葉・草等 ⇒ 予測 ⇒ 将来推計 ⇒ 剪定枝、落ち葉・草等に按分。

小型家電 ⇒ 平成 25~28 年度の平均値(平成 24 年度は実績値がないため、4 ヶ年の平均としている)。

その他 ⇒ 平成 24~28 年度の平均値。

第3節 将来推計（現状推移）

1. 人口

本計画の上位計画『野田市総合計画』においては、将来人口を平成 27 年度で 155,982 人、（実績は 155,134 人）、平成 32 年度で 155,141 人、平成 37 年度で 153,684 人、平成 42 年度で 151,932 人と推計しています。本計画における将来人口（平成 29 年度以降）は、総合計画の人口を採用することとします。なお、総合計画では将来人口が 5 年間隔で示されているため、間の年度の人口は均等割で算出しました。

2. ごみの排出原単位

（1）収集ごみ（家庭系ごみ）

収集ごみの予測結果は、表 3-1 に示したとおりで、決定係数が最も高い「分数」による数値を採用します。

表 3-1 収集ごみ予測結果（現状推移）

年度	実績	トレンド推計値				
		直線	分数	指数	べき乗	ロジスティック
H15	464					
H16	434					
H17	443					
H18	443					
H19	428					
H20	429					
H21	423					
H22	419					
H23	420					
H24	421					
H25	415					
H26	415					
H27	418					
H28	410					
H29	-	404	409	405	407	404
H30	-	401	407	402	405	401
H31	-	398	405	399	403	398
H32	-	395	404	396	401	395
H33	-	392	403	394	399	392
a	-	-3.05934	1,361.87950	497.28783	678.80704	0.71335
b	-	493.06154	361.56445	0.99294	-0.15194	-0.01452
K	-					843.83694
決定係数R ²	-	0.77237	0.84145	0.77859	0.81682	0.77215
採用式	-		○			

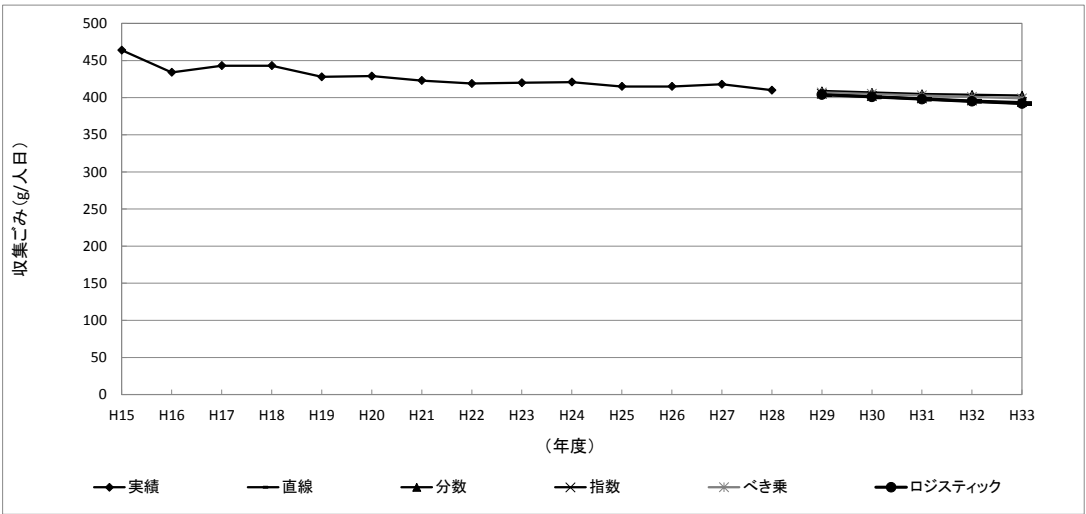


図3-1 収集ごみ予測結果（現状推移）

(2) 直接搬入ごみ（事業系ごみ）

直接搬入ごみの予測結果は、表 3-2 に示したとおりで、決定係数が最も高いのは「ロジスティック式」による数値ですが、近年の著しい減少傾向の影響を大きく受け、減少幅が極めて大きく現実的ではない推計となっています。決定係数が高い式は、「ロジスティック式」に次いで「直線式」、「指数式」と続きますが、「直線式」と「指数式」の決定係数はほぼ等しい値となっています。近年の著しい減少傾向は、展開検査の強化等が要因であると考えられ、その効果は一時的なものである可能性があることから、両者のうち、減少幅が緩やかな「指数式」による数値を採用します。

表 3-2 直接搬入ごみの予測結果（現状推移）

年度	実績	トレンド推計値				
		直線	分数	指数	べき乗	ロジスティック
H15	242					
H16	238					
H17	244					
H18	231					
H19	229					
H20	225					
H21	226					
H22	220					
H23	217					
H24	229					
H25	234					
H26	214					
H27	186					
H28	166					
H29	—	191	200	191	195	190
H30	—	187	198	187	192	185
H31	—	183	196	183	190	179
H32	—	179	194	180	187	173
H33	—	175	193	176	185	167
a	—	-4.04176	1,596.24926	334.67242	725.99820	0.02378
b	—	308.39780	144.46858	0.98076	-0.39084	-0.09824
K	—	—	—	—	—	268.40000
決定係数 R^2	—	0.61842	0.53031	0.60015	0.55794	0.67242
採用式	—			○		

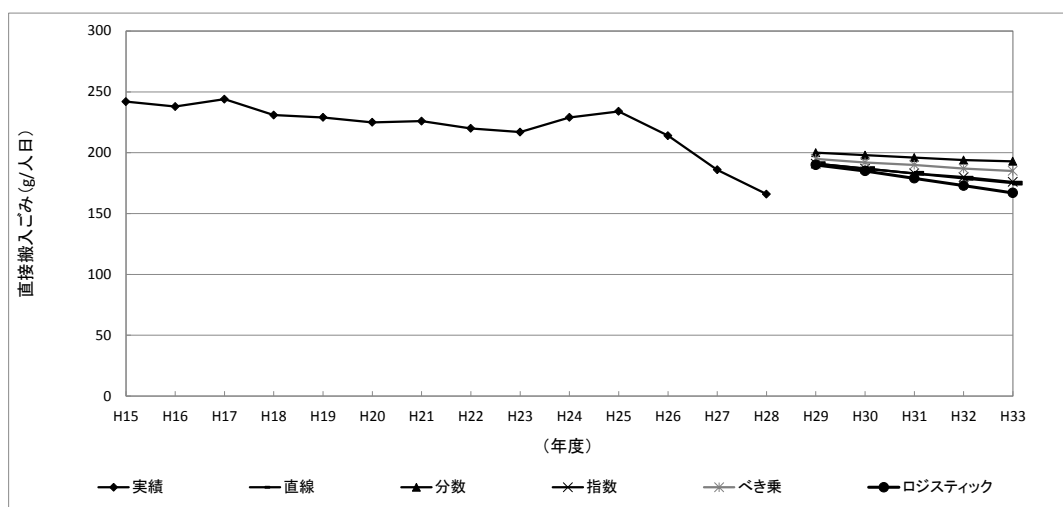


図 3-2 直接搬入ごみの予測結果（現状推移）

(3) 集団資源回収（紙類）

集団資源回収の予測については、近年の推移を考慮し、繊維類、金属類、びん類、空き缶、ペットボトルは平成24年度～28年度の直近5年間の平均値を採用します。紙類については表3-3に示したとおりで、最も決定係数が高いのは「直線」による数値、次いで「ロジスティック」、「指数」による数値と続きますが、これらの予測は減少幅が極めて大きく現実的ではないため、次いで決定回数が高い「分数」による数値を採用します。

表3-3 集団資源回収（紙類）の予測結果（現状推移）

年度	実績	推計値				
		直線	分数	指数	べき乗	ロジスティック
H15	122					
H16	126					
H17	124					
H18	118					
H19	112					
H20	104					
H21	95					
H22	91					
H23	88					
H24	84					
H25	80					
H26	72					
H27	64					
H28	59					
H29	-	56	65	60	64	49
H30	-	50	63	57	61	42
H31	-	45	60	54	59	37
H32	-	40	58	50	57	31
H33	-	34	56	48	54	26
a	-	-5.33407	2,213.56905	325.31809	3,605.33967	0.00405
b	-	210.32527	-11.17904	0.94344	-1.19911	-0.21036
K	-					137.09523
決定係数 R^2	-	0.97760	0.92558	0.95415	0.91724	0.97400
採用式	-		○			

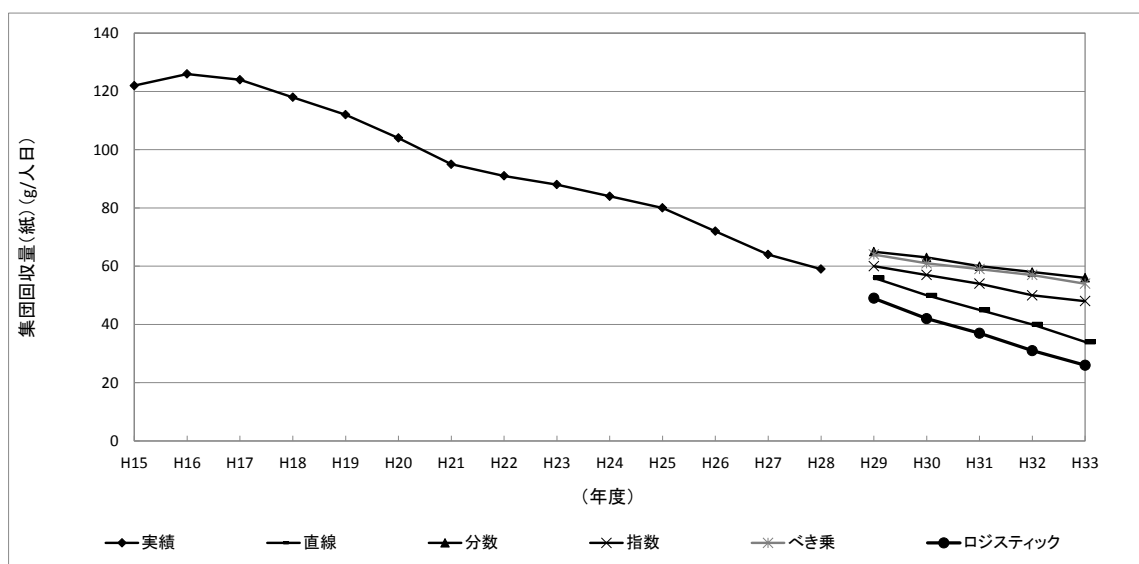


図3-3 集団資源回収（紙類）の予測結果（現状推移）

(4) 剪定枝、落ち葉・草

剪定枝、落ち葉・草の予測結果は、表 3-4に示したとおりで、最も決定係数が高い「分数」による数値を採用します。

表 3-4 剪定枝、落ち葉・草の予測結果（現状推移）

年度	実績	推計値				
		直線	分数	指数	べき乗	ロジスティック
H15	26					
H16	35					
H17	48					
H18	59					
H19	64					
H20	72					
H21	73					
H22	74					
H23	75					
H24	79					
H25	76					
H26	83					
H27	89					
H28	90					
H29	-	99	94	113	108	92
H30	-	104	96	121	114	93
H31	-	108	98	131	120	94
H32	-	112	100	141	127	95
H33	-	117	102	152	133	96
a	-	4.27473	-1,903.87908	12.65023	0.42664	45.79234
b	-	-24.54945	159.23409	1.07830	1.64274	0.21852
K	-					99.00000
決定係数R ²	-	0.86514	0.94348	0.78310	0.83307	0.91457
採用式	-		○			

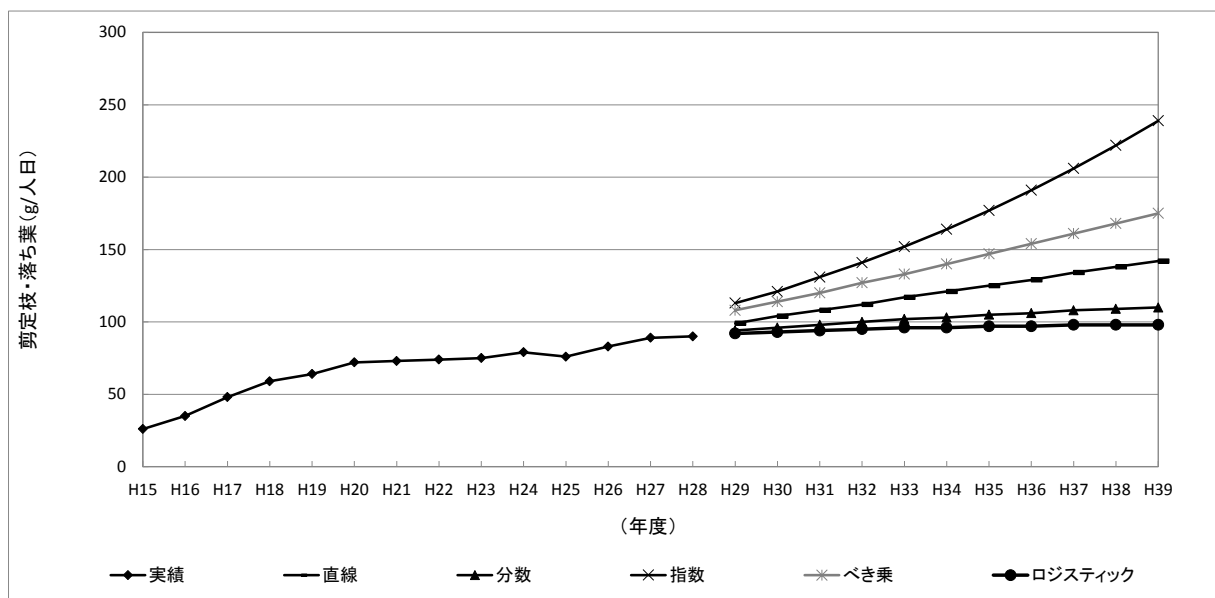


表 3-4 剪定枝、落ち葉・草の予測結果（現状推移）

(5) 予測結果のまとめ

予測結果をまとめると表 3-5に示したようになり、目標年度である平成 33 年度の総排出量原単位は 783g/人・日と予測されます。

表 3-5 予測結果の一覧（現状推移）

年度／区分	人口 (人)	収集ごみ (g/人日)	直接搬入ごみ (g/人日)	集団資源 回収物 (g/人日)	剪定枝、 落ち葉・草 (g/人日)	小型家電 (g/人日)	その他 (g/人日)	総排出原単位 (g/人日)
実績	H15	152,952	464	242	178	26	-	910
	H16	153,375	434	238	183	35	-	890
	H17	153,905	443	244	180	48	-	915
	H18	154,630	443	231	173	59	-	906
	H19	156,083	428	229	166	64	-	886
	H20	156,876	429	225	155	72	-	881
	H21	157,183	423	226	146	73	-	868
	H22	157,033	419	220	142	74	1	856
	H23	157,363	420	217	138	75	1	851
	H24	156,725	421	229	133	79	1	864
	H25	156,124	415	234	127	76	1	855
	H26	155,610	415	214	116	83	1	830
	H27	155,134	418	186	107	89	1	802
予測	H28	154,772	410	166	100	90	1	769
	H29	155,646	409	191	109	94	1	805
	H30	155,477	407	187	107	96	1	799
	H31	155,309	405	183	104	98	1	792
	H32	155,141	404	180	102	100	1	788
	H33	154,850	403	176	100	102	1	783

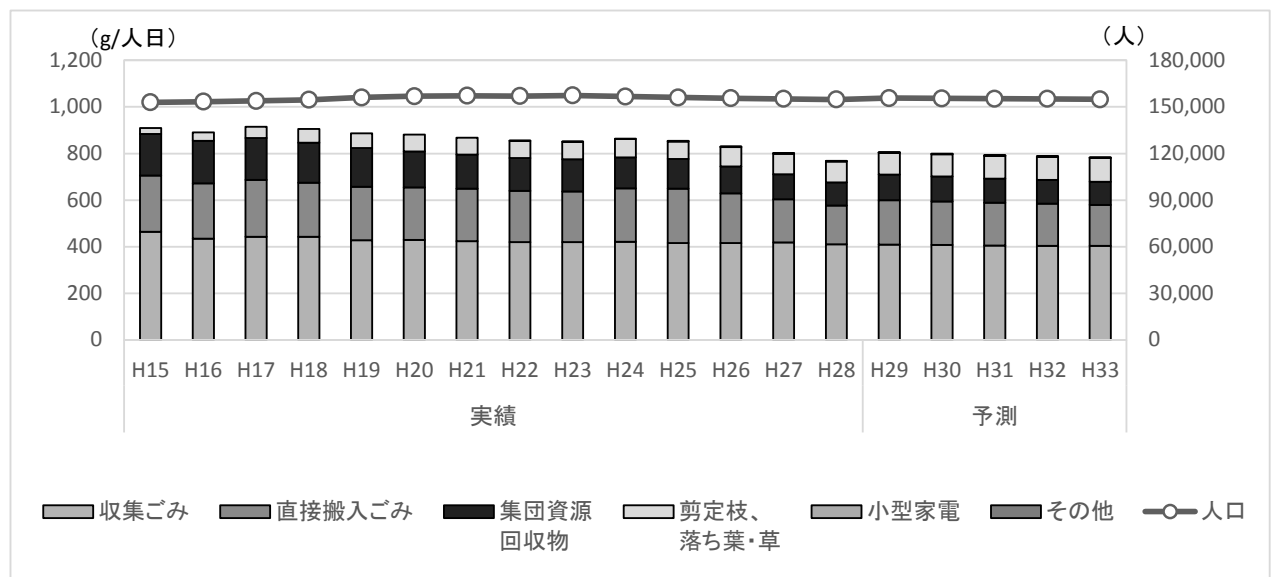


図 3-5 予測結果のまとめ（現状推移）

3. 種類別排出原単位

(1) 収集ごみ（家庭系ごみ）の内訳

収集ごみ量の予測値を種類別の割合で按分した結果は、表 3-6 に示したとおりで、平成 33 年度は可燃ごみが 312g/人・日、不燃ごみが 85g/人・日、粗大可燃ごみが 4/人・日、粗大不燃ごみが 2g/人・日と予測されます。

表 3-6 収集ごみの内訳（現状推移）

年度／区分		収集ごみ 原単位 (g/人日)	内訳			
			可燃ごみ (g/人日)	不燃ごみ (g/人日)	粗大可燃ごみ (g/人日)	粗大不燃ごみ (g/人日)
実績	H15	464	355	104	3	2
	H16	434	336	93	3	2
	H17	443	343	94	3	2
	H18	443	344	94	3	2
	H19	428	335	87	3	2
	H20	429	338	86	3	2
	H21	423	332	86	3	2
	H22	419	324	89	4	2
	H23	420	325	89	4	2
	H24	421	327	89	3	2
	H25	415	320	89	4	2
	H26	415	322	87	3	2
	H27	418	324	88	4	3
	H28	410	319	85	4	3
予測	H29	409	317	86	4	2
	H30	407	315	86	4	2
	H31	405	314	85	4	2
	H32	404	313	85	4	2
	H33	403	312	85	4	2

※予測の内訳は、平成24～28年度の実績割合の平均から算出した。

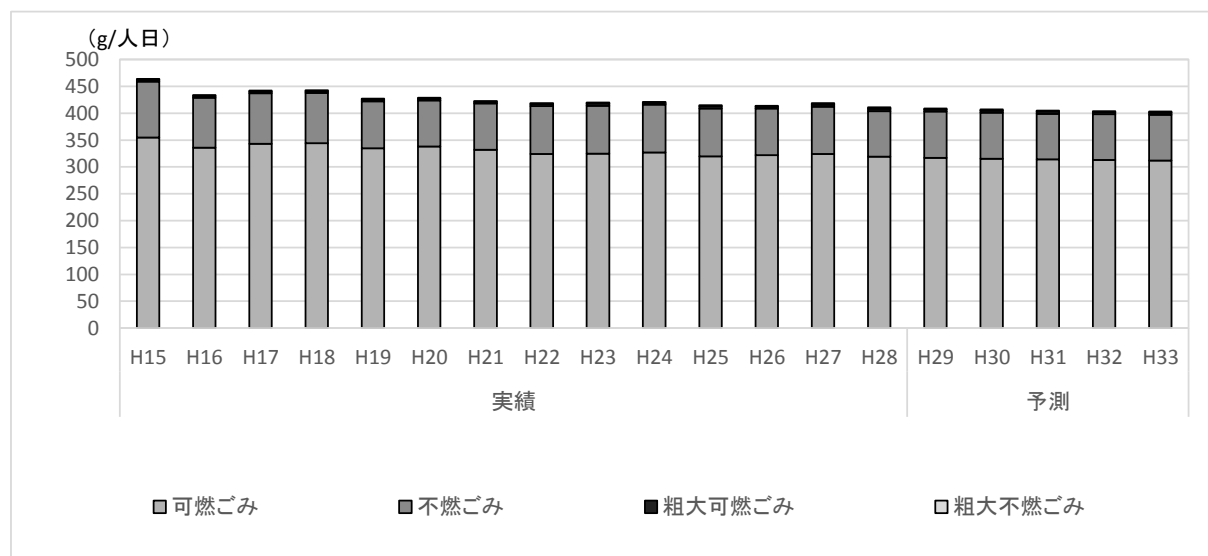


図 3-6 収集ごみ（家庭系ごみ）の内訳（現状推移）

(2) 直接搬入ごみ（事業系ごみ）の内訳

直接搬入ごみの予測値を種類別の割合で按分した結果は、表 3-7 に示したとおりで、平成 33 年度は可燃ごみが 165g/人・日、不燃ごみが 11g/人・日と予測されます。

表 3-7 直接搬入ごみの内訳（現状推移）

年度／区分		直接搬入ごみ 原単位 (g/人日)	内訳	
			可燃ごみ (g/人日)	不燃ごみ (g/人日)
実績	H15	242	225	17
	H16	238	225	14
	H17	244	228	16
	H18	231	217	15
	H19	229	215	14
	H20	225	211	14
	H21	226	210	16
	H22	220	205	15
	H23	217	202	15
	H24	229	213	16
	H25	234	219	15
	H26	214	203	11
	H27	186	175	11
	H28	166	154	12
予測	H29	191	179	12
	H30	187	175	12
	H31	183	171	12
	H32	180	169	11
	H33	176	165	11

※予測の内訳は、平成24～28年度の実績割合の平均から算出した。

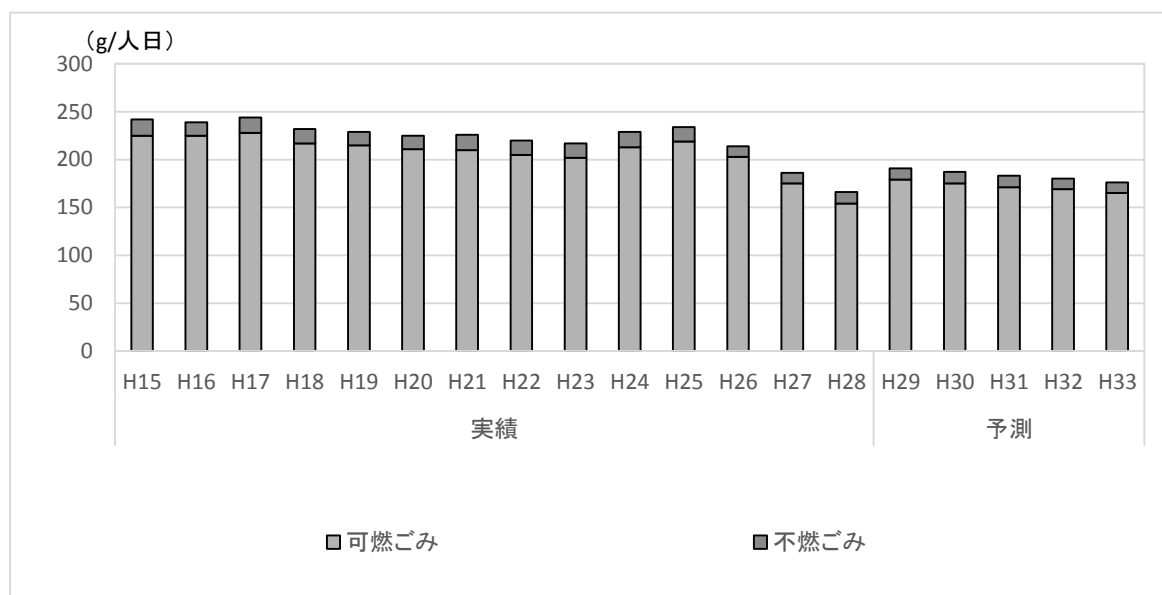


図 3-7 直接搬入ごみの内訳（現状推移）

(3) 集団資源回収の内訳

集団資源回収の予測値を種類別の割合で按分した結果は、表 3-8に示したとおりで、平成 33 年度は繊維類が 7g/人・日、紙類が 56g/人・日、金属類が 7g/人・日、びん類が 18g/人・日、空き缶が 6g/人・日、ペットボトルが 6g/人・日と予測されます。

表 3-8 集団資源回収の内訳（現状推移）

年度／区分		集団資源回収 (g/人日)	内訳					
			繊維類 (g/人日)	紙類 (g/人日)	金属類 (g/人日)	びん類 (g/人日)	空き缶 (g/人日)	ペットボトル (g/人日)
実績	H15	178	8	122	9	21	12	6
	H16	183	9	126	10	21	11	6
	H17	180	9	124	9	20	11	6
	H18	173	9	118	9	20	11	7
	H19	166	9	112	8	20	10	7
	H20	155	9	104	8	20	9	7
	H21	146	9	95	8	19	9	6
	H22	142	9	91	8	20	8	6
	H23	138	9	88	8	19	8	6
	H24	133	8	84	8	19	7	6
	H25	127	8	80	8	18	7	6
	H26	116	7	72	7	18	6	6
	H27	107	7	64	7	18	6	5
予測	H28	100	6	59	7	17	6	5
	H29	109	7	65	7	18	6	6
	H30	107	7	63	7	18	6	6
	H31	104	7	60	7	18	6	6
	H32	102	7	58	7	18	6	6
	H33	100	7	56	7	18	6	6

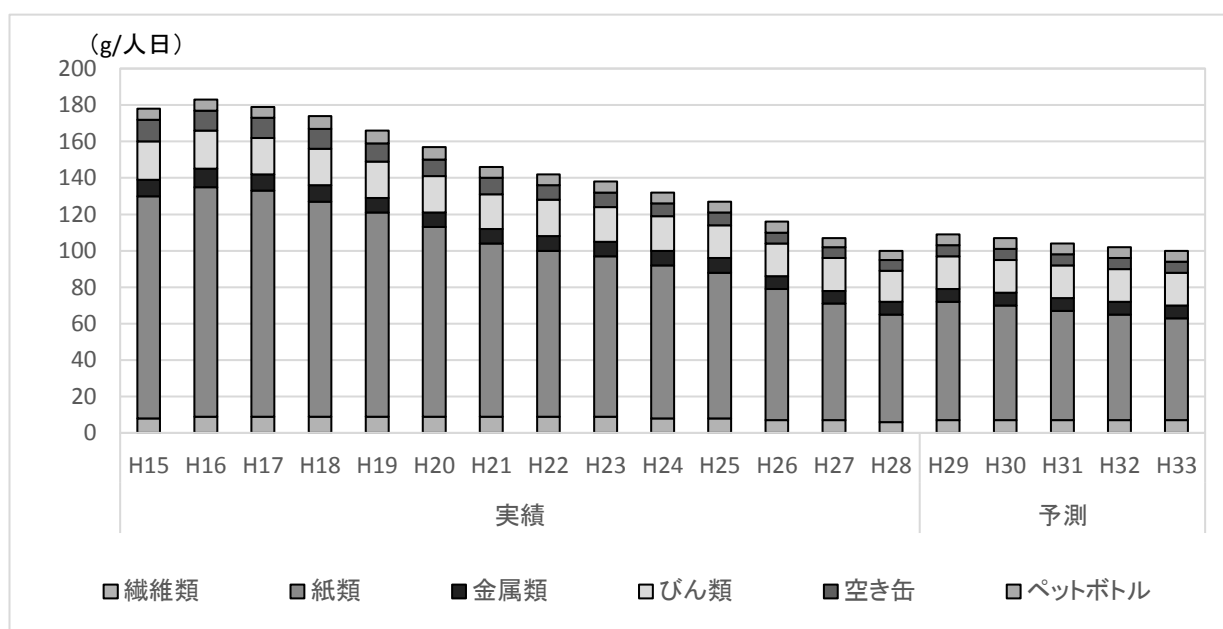


図 3-8 集団資源回収の内訳（現状推移）

(4) 剪定枝、落ち葉・草の内訳

剪定枝、落ち葉・草の予測値を種類別の割合で按分した結果は、表 3-9に示したとおりで、平成 33 年度は剪定枝の収集が 34g/人・日、持込が 61g/人・日、落ち葉・草の収集はなく、持込が 7g/人・日と予測されます。

表 3-9 剪定枝、落ち葉・草の内訳（現状推移）

年度／区分		剪定枝、 落ち葉・草 (g/人日)	内訳			
			剪定枝 収集 (g/人日)	剪定枝 持込 (g/人日)	落ち葉・草 収集 (g/人日)	落ち葉・草 持込 (g/人日)
実績	H15	26	4	9	7	6
	H16	35	8	17	5	5
	H17	48	12	24	6	6
	H18	59	14	30	8	7
	H19	64	15	33	8	7
	H20	72	19	36	8	8
	H21	73	24	38	4	7
	H22	74	28	39	－	7
	H23	75	28	40	－	6
	H24	79	28	46	－	6
	H25	76	28	44	－	5
	H26	83	27	50	－	6
	H27	89	28	55	－	6
	H28	90	28	55	－	7
予測	H29	94	31	56	－	7
	H30	96	32	57	－	7
	H31	98	33	58	－	7
	H32	100	33	60	－	7
	H33	102	34	61	－	7

※予測の内訳は、平成24～28年度の実績割合の平均から算出した。

※落ち葉・草収集は、平成22年度から剪定枝収集に含まれる。

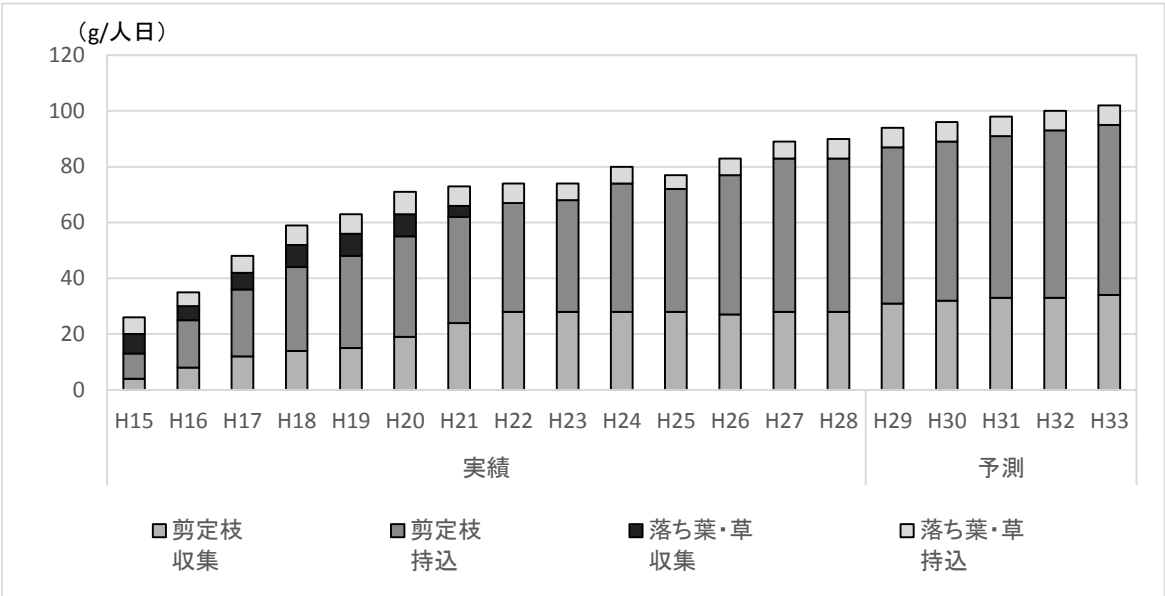


図 3-9 剪定枝、落ち葉・草の内訳（現状推移）

4. 排出量の見込み

排出原単位に人口を乗じて年間の排出量を算出すると、表 3-10 に示したとおりになります。

平成 33 年度は、収集ごみ量が 22,778 t、直接搬入ごみ量が 9,948 t、集団資源回収量が 5,652 t、剪定枝が 5,369 t、落ち葉・草が 396 t、小型家電が 57 t、その他が 57 t と見込まれます。

表 3-10 排出量の見込み（現状推移）

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
人口（人）	152,952	153,375	153,905	154,630	156,083	156,876	157,183	157,033	157,363	156,723	156,124	155,610	155,134	154,772	155,646	155,477	155,309	155,141	154,850
年間日数（日）	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	366	365	366	365
収集ごみ（家庭系ごみ）	(t/年)	25,969	24,278	24,873	25,017	24,427	24,540	24,278	24,030	24,196	24,107	23,656	23,545	23,716	23,184	23,236	23,097	23,021	22,877
	(g/人日)	464	434	443	443	428	429	423	419	420	421	415	415	418	410	409	407	405	404
可燃ごみ	(t/年)	19,864	18,824	19,272	19,433	19,143	19,334	19,022	18,570	18,698	18,694	18,234	18,311	18,378	18,027	18,009	17,877	17,848	17,724
	(g/人日)	355	336	343	344	335	338	332	324	325	327	320	322	324	319	317	315	314	313
不燃ごみ	(t/年)	5,835	5,184	5,300	5,278	4,981	4,897	4,950	5,100	5,145	5,096	5,091	4,917	4,987	4,812	4,886	4,880	4,832	4,813
	(g/人日)	104	93	94	94	87	86	86	89	89	89	87	88	88	85	86	86	85	85
粗大可燃	(t/年)	151	161	180	186	177	176	179	212	211	185	205	192	203	202	227	227	227	227
	(g/人日)	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4
粗大不燃	(t/年)	117	109	120	120	126	133	127	141	139	132	126	125	148	143	113	114	113	113
	(g/人日)	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2
直接搬入ごみ（事業系ごみ）	(t/年)	13,534	13,335	13,708	13,047	13,098	12,964	12,609	12,509	13,106	13,354	12,177	10,589	9,398	10,851	10,612	10,402	10,193	9,948
	(g/人日)	243	239	244	231	229	225	226	220	217	229	214	186	166	191	187	183	180	176
可燃ごみ	(t/年)	12,601	12,576	12,800	12,228	12,288	12,101	12,035	11,735	11,645	12,204	12,495	9,948	8,716	10,169	9,931	9,720	9,570	9,326
	(g/人日)	225	225	228	217	215	211	210	205	202	213	219	203	175	154	179	175	171	165
不燃ごみ	(t/年)	933	739	908	819	809	799	919	874	864	902	860	632	641	682	681	682	623	622
	(g/人日)	17	14	16	15	14	14	16	15	15	16	15	11	11	12	12	12	11	11
集団資源回収量	(t/年)	9,991	10,221	10,098	9,785	9,457	8,888	8,390	8,118	7,967	7,620	7,265	6,601	6,055	6,192	6,072	5,912	5,776	5,652
	(g/人日)	178	183	180	173	166	155	146	142	138	133	127	116	107	100	109	107	104	100
繊維類	(t/年)	469	493	505	528	520	491	507	511	533	486	452	394	380	343	398	397	398	396
	(g/人日)	8	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	7	7	6	7	7	7	7
紙類	(t/年)	6,842	7,029	6,972	6,657	6,411	5,935	5,460	5,189	5,056	4,830	4,577	4,066	3,619	3,325	3,691	3,577	3,411	3,285
	(g/人日)	122	126	124	118	112	104	95	91	88	84	80	72	64	59	65	63	60	58
金属類	(t/年)	503	535	528	529	475	433	449	438	458	444	445	423	406	387	398	397	398	396
	(g/人日)	9	10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7
びん類	(t/年)	1,188	1,165	1,109	1,110	1,120	1,122	1,111	1,134	1,102	1,079	1,054	1,036	1,012	964	1,023	1,021	1,023	1,019
	(g/人日)	21	21	20	20	20	20	19	20	19	19	18	18	18	17	18	18	18	18
空き缶	(t/年)	675	637	625	595	547	528	496	477	440	418	390	361	334	319	341	340	341	339
	(g/人日)	12	11	11	11	10	9	9	8	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6
ペットボトル	(t/年)	315	363	359	367	383	378	366	370	371	363	346	321	305	293	341	340	341	339
	(g/人日)	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6	6	6	5	5	6	6	6	6
剪定枝、落ち葉・草	(t/年)	1,464	1,986	2,705	3,310	3,633	4,095	4,202	4,232	4,316	4,518	4,341	4,715	5,059	5,102	5,341	5,448	5,571	5,662
	(g/人日)	26	35	48	59	64	72	73	74	73	79	76	83	89	90	94	96	98	100
剪定枝	(t/年)	754	1,420	2,016	2,481	2,738	3,161	3,588	3,833	3,943	4,197	4,071	4,385	4,720	4,715	4,943	5,051	5,173	5,266
	(g/人日)	13	25	36	44	48	55	63	67	68	73	71	77	83	83	87	89	91	93
収集	(t/年)	227	448	662	766	830	1,081	1,380	1,598	1,625	1,592	1,574	1,560	1,602	1,582	1,761	1,816	1,876	1,869
	(g/人日)	4	8	12	14	15	19	24	28	28	28	28	27	28	28	31	32	33	33
持込	(t/年)	527	972	1,354	1,715	1,909	2,080	2,208	2,235	2,319	2,605	2,497	2,825	3,118	3,134	3,182	3,235	3,297	3,397
	(g/人日)	9	17	24	30	33	36	38	39	40	46	44	50	55	55	56	57	58	60
落ち葉・草	(t/年)	710	567	689	829	895	934	614	399	372	321	271	330	339	387	398	397	398	396
	(g/人日)	13	10	12	15	16	16	11	7	6	6	5	6	6	7	7	7	7	7
収集	(t/年)	382	293	359	454	468	475	201	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(g/人日)	7	5	6	8	8	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
持込	(t/年)	329	274	329	374	427	459	413	399	372	321	271	330	339	387	398	397	398	396
	(g/人日)	6	5	6	7	7	8	7	7	6	6	5	6	6	7	7	7	7	7
小型家電	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	62	57	68	57	57	57
	(g/人日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1
その他	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	59	51	51	46	54	58	58	57	57	57	57
	(g/人日)	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総排出量	(t/年)	50,957	49,820	51,383	51,159	50,615	50,422	49,824	49,049	49,030	49,402	48,716	47,154	45,535	43,441	45,734	45,343	45,020	44,623
	(g/人日)	910	890	915	906	886	881	868	856	851	864	855	830	802	769	805	799	792	788

5. 処理内訳量の見込み

排出量の推計値から、各処理量は、表 3-1 1～表 3-1 6に示したとおりになります。

(1) 焼却処理量の見込み

焼却処理量は、表 3-1 1 に示したとおりで、平成 33 年度は 27,187 t と見込まれます。

表 3-1 1 焼却処理量の見込み（現状推移）

(t/年)

年度／区分		収集 可燃ごみ	収集粗大 可燃ごみ	直接搬入 可燃ごみ	焼却対象量
実績	H15	19,864	151	12,601	32,616
	H16	18,824	161	12,576	31,561
	H17	19,272	180	12,800	32,252
	H18	19,433	186	12,228	31,847
	H19	19,143	177	12,288	31,608
	H20	19,334	176	12,101	31,611
	H21	19,022	179	12,035	31,236
	H22	18,570	212	11,735	30,517
	H23	18,698	211	11,645	30,554
	H24	18,694	185	12,204	31,083
	H25	18,234	205	12,495	30,934
	H26	18,311	192	11,545	30,048
	H27	18,378	203	9,948	28,529
	H28	18,027	202	8,716	26,945
予測	H29	18,009	227	10,169	28,405
	H30	17,877	227	9,931	28,035
	H31	17,848	227	9,720	27,795
	H32	17,724	227	9,570	27,521
	H33	17,635	226	9,326	27,187

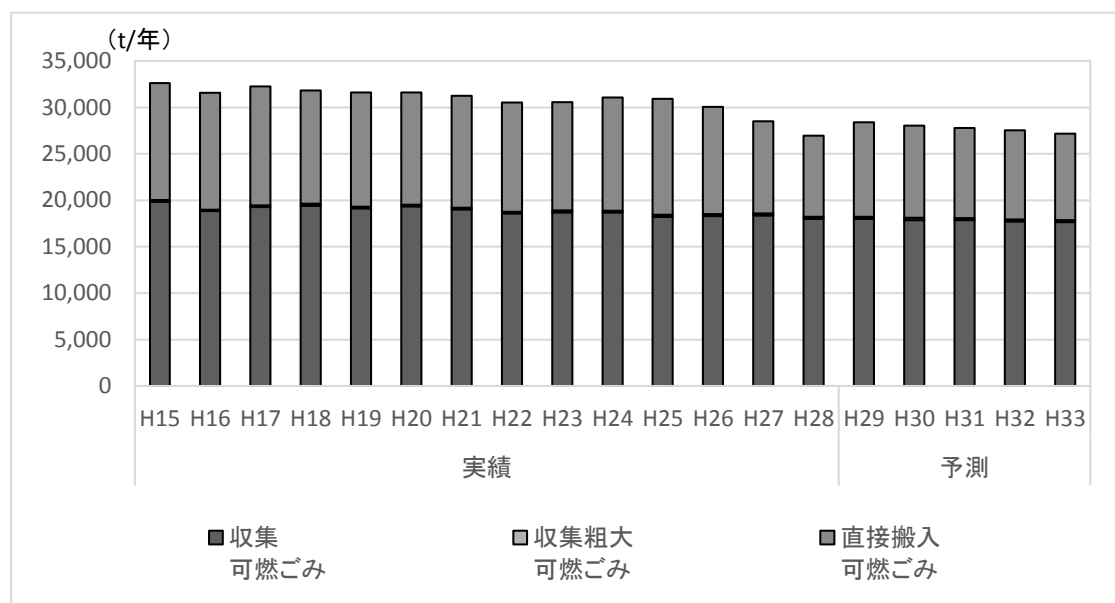


図 3-11 焼却処理量の見込み（現状推移）

(2) 破碎・選別処理量の見込み

破碎・選別処理量は、表 3-1 2 に示したとおりで、平成 33 年度は 5,539t と見込まれます。

表 3-1 2 破碎・選別処理量の見込み（現状推移）

(t/年)

年度／区分		収集 不燃ごみ	収集粗大 不燃ごみ	直接搬入 不燃ごみ	破碎・選別 処理量
実績	H15	5,835	117	933	6,886
	H16	5,184	109	759	6,052
	H17	5,300	120	908	6,328
	H18	5,278	120	819	6,217
	H19	4,981	126	809	5,917
	H20	4,897	133	799	5,829
	H21	4,950	127	919	5,996
	H22	5,106	141	874	6,122
	H23	5,148	139	864	6,151
	H24	5,096	132	902	6,129
	H25	5,091	126	860	6,077
	H26	4,917	125	632	5,674
	H27	4,987	148	641	5,777
	H28	4,812	143	682	5,637
予測	H29	4,886	114	682	5,682
	H30	4,880	113	681	5,674
	H31	4,832	114	682	5,628
	H32	4,813	113	623	5,549
	H33	4,804	113	622	5,539

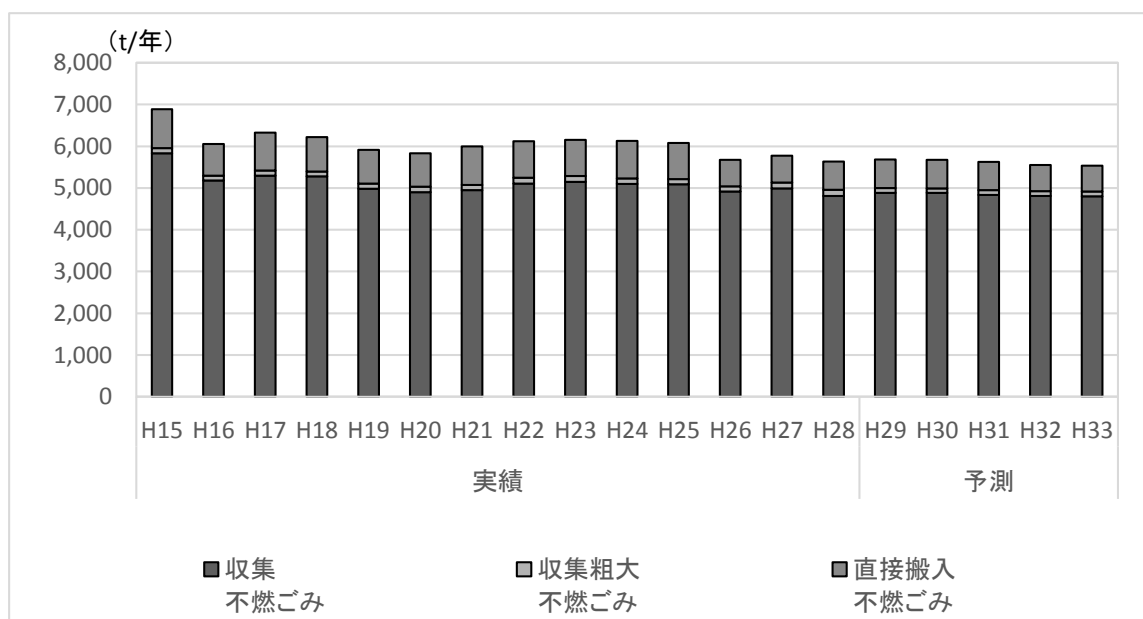


図 3-12 破碎・選別処理量の見込み（現状推移）

(3) 資源化処理量の見込み

破碎・選別処理した後の資源化処理量の内訳は、表 3-13 に示したとおりで、平成 33 年度は廃プラスチック以外の資源化が 291t、廃プラスチックが 1,483t、リサイクル展示品（不燃）が 4t、小型家電（ピックアップ）が 62 t、資源化不適物が 3,700t と見込まれます。

表 3-13 資源化処理量の内訳見込み（現状推移）

(t/年)

年度／区分		資源化 (廃プラ除く)	廃プラの 資源化	リサイクル 展示品 (不燃)	小型家電 (ピックアップ)	資源化 不適物
実績	H15	549	1,951	18	0	4,367
	H16	569	1,851	21	0	3,611
	H17	560	1,877	20	0	3,870
	H18	530	1,919	15	0	3,754
	H19	487	1,909	15	0	3,506
	H20	467	1,887	13	0	3,470
	H21	455	1,923	15	0	3,603
	H22	132	3,702	12	0	2,277
	H23	131	3,872	17	0	2,132
	H24	126	3,637	17	0	2,349
	H25	355	1,678	7	64	3,717
	H26	303	1,024	3	60	4,262
	H27	279	1,754	2	61	3,625
	H28	265	1,659	5	69	3,635
予測	H29	299	1,521	4	63	3,795
	H30	299	1,519	4	63	3,790
	H31	296	1,506	4	63	3,759
	H32	292	1,485	4	62	3,706
	H33	291	1,483	4	62	3,700

※平成22～24年度における廃プラの資源化量は、不燃物処理施設が稼働停止していたため、民間処理業者による資源化量である。

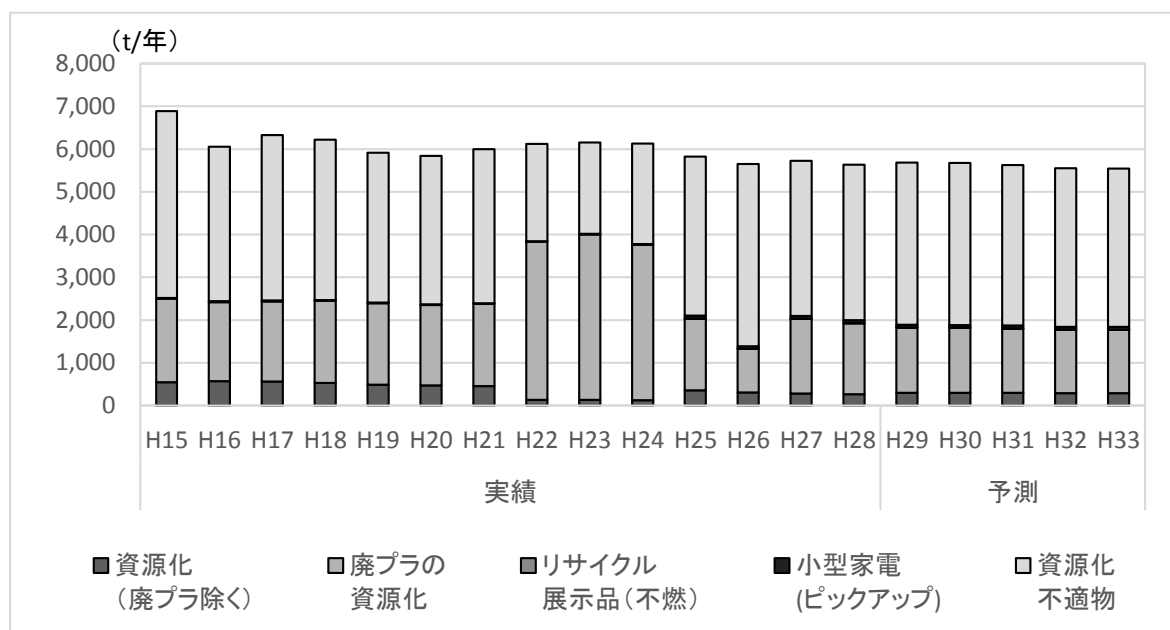


図 3-13 資源化量の内訳見込み（現状推移）

(4) 焼却残渣量の見込み

焼却残渣量は、表 3-14 に示したとおりで、平成 33 年度は 2,374 t と見込まれます。

表 3-14 焼却残渣量の見込み（現状推移）

(t / 年)

年度／区分		焼却対象量	焼却残渣量	エコセメント量
実績	H15	32,616	2,869	520
	H16	31,561	3,098	301
	H17	32,252	2,924	301
	H18	31,847	3,041	299
	H19	31,608	2,977	284
	H20	31,611	3,024	287
	H21	31,236	3,084	222
	H22	30,517	2,956	249
	H23	30,554	3,037	145
	H24	31,083	3,195	－
	H25	30,934	3,179	－
	H26	30,048	2,591	－
	H27	28,529	2,533	－
	H28	26,945	2,342	－
予測	H29	28,405	2,480	－
	H30	28,035	2,448	－
	H31	27,795	2,427	－
	H32	27,521	2,403	－
	H33	27,187	2,374	－

※焼却残渣のエコセメント化は、平成24年度から中止している。

(5) 総資源化量、再生利用率の見込み

破碎・選別処理後の資源化、集団資源回収量、剪定枝等の資源化、エコセメント等の総資源化量及び再生利用率は、表 3-15 に示したとおりで、平成 33 年度は総資源化量が 13,395t、再生利用率が 30%と見込まれます。

表 3-15 総資源化量、再生利用率の見込み（現状推移）

年度／区分		集団資源 回収物 (t/年)	資源化 (廃プラ除く) (t/年)	廃プラ 資源化 (t/年)	リサイクル 展示品 (t/年)	剪定枝等 リサイクル (t/年)	エコセメント量 (t/年)	小型家電 (拠点回収) (t/年)	小型家電 (ピックアップ) (t/年)	その他 (t/年)	空き缶 回収機 (t/年)	総資源化量 (t/年)	再生利用率 (%)
実績	H15	9,991	549	1,951	18	1,464	520	-	-	-	190	14,684	29%
	H16	10,221	569	1,851	21	1,986	301	-	-	-	177	15,125	30%
	H17	10,098	560	1,877	20	2,705	301	-	-	-	114	15,676	31%
	H18	9,785	530	1,919	15	3,310	299	-	-	-	97	15,955	31%
	H19	9,457	487	1,909	15	3,633	284	-	-	-	110	15,895	31%
	H20	8,888	467	1,887	13	4,095	287	-	-	-	58	15,694	31%
	H21	8,390	455	1,923	15	4,202	222	-	-	-	52	15,258	31%
	H22	8,118	132	3,702	12	4,232	249	-	-	59	45	16,549	34%
	H23	7,967	131	3,872	17	4,316	145	-	-	51	30	16,528	34%
	H24	7,620	126	3,637	17	4,518	-	-	-	51	27	15,998	32%
	H25	7,265	355	1,678	17	4,341	-	54	64	46	18	13,838	28%
	H26	6,601	303	1,024	14	4,715	-	62	60	54	-	12,833	27%
	H27	6,055	279	1,754	14	5,059	-	57	61	58	-	13,338	29%
	H28	5,631	265	1,659	12	5,102	-	68	69	58	-	12,863	30%
予測	H29	6,192	299	1,521	14	5,341	-	57	63	57	-	13,558	30%
	H30	6,072	299	1,519	14	5,448	-	57	63	57	-	13,543	30%
	H31	5,912	296	1,506	14	5,571	-	57	63	57	-	13,490	30%
	H32	5,776	292	1,485	14	5,662	-	57	62	57	-	13,419	30%
	H33	5,652	291	1,483	14	5,765	-	57	62	57	-	13,395	30%

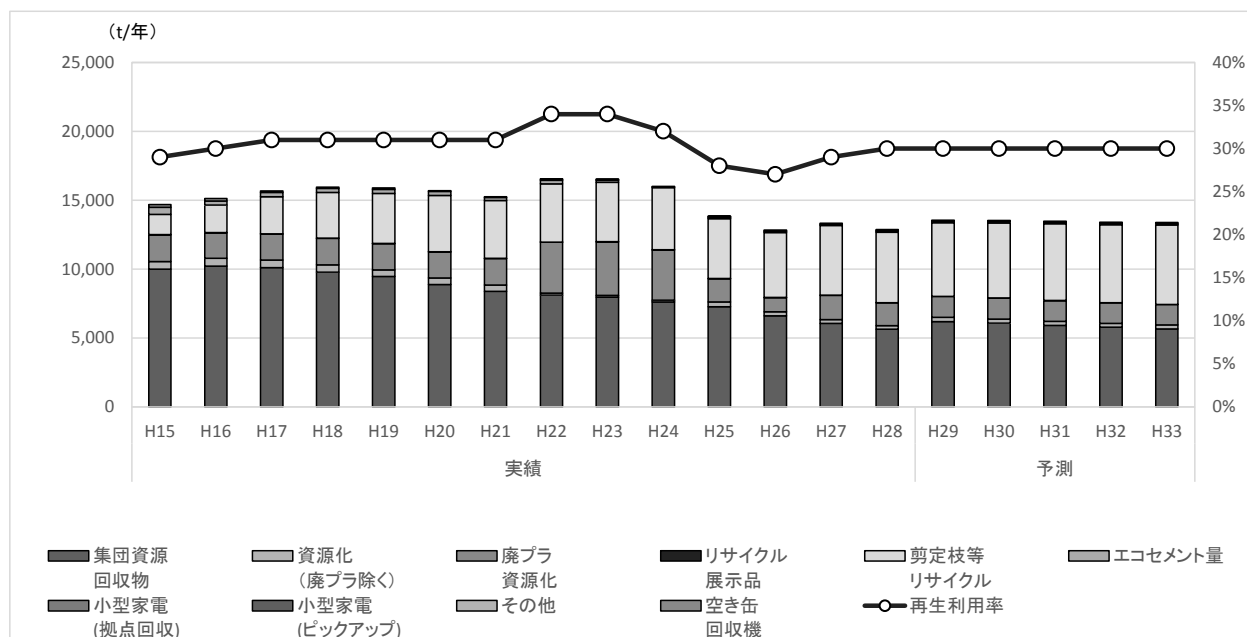


図 3-14 総資源化量、再生利用率の見込み（現状推移）

(6) 最終処分量の見込み

最終処分量は、表 3-1 6 に示したとおりで、平成 33 年度は 6,074t と見込まれます。

表 3-1 6 最終処分量の見込み（現状推移）

(t / 年)

年度 / 区分		資源化 不適物	エコセメント以外 の焼却残渣	最終処分量
実績	H15	4,367	2,869	7,236
	H16	3,611	3,098	6,709
	H17	3,870	2,924	6,794
	H18	3,754	3,041	6,795
	H19	3,506	2,977	6,483
	H20	3,470	3,024	6,493
	H21	3,603	3,084	6,687
	H22	2,277	2,956	5,233
	H23	2,132	3,037	5,169
	H24	2,349	3,195	5,543
	H25	3,717	3,179	6,896
	H26	4,262	2,591	6,853
	H27	3,625	2,533	6,158
	H28	3,635	2,342	5,976
予測	H29	3,795	2,480	6,275
	H30	3,790	2,448	6,238
	H31	3,759	2,427	6,186
	H32	3,706	2,403	6,109
	H33	3,700	2,374	6,074

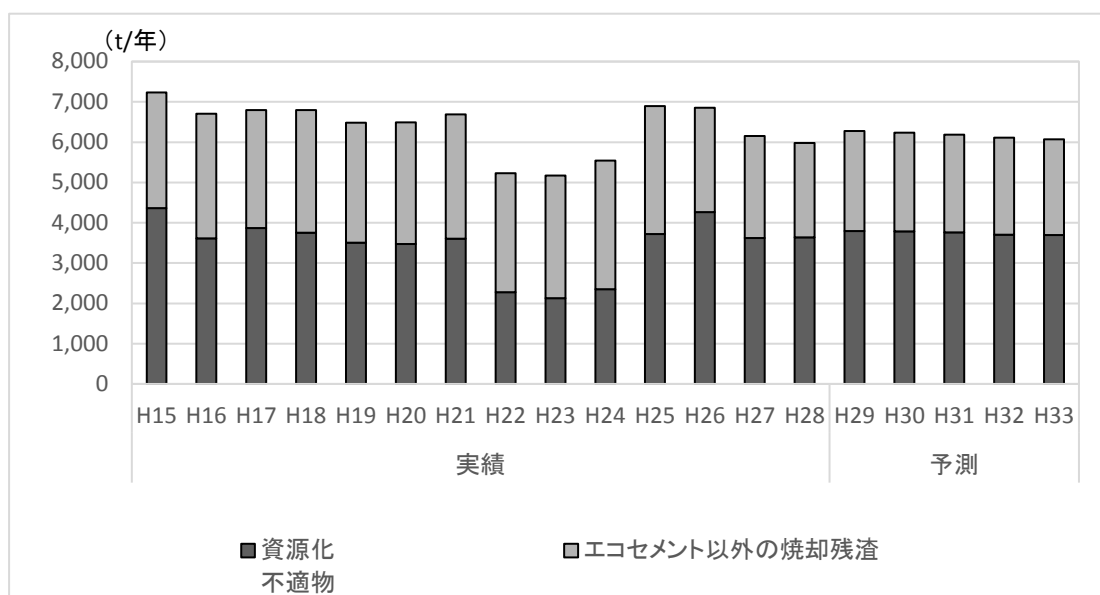


図 3-15 最終処分量の見込み（現状推移）

第4節 ごみ発生量及び処理量の見込み（減量効果見込み）

1 減量化目標

平成 33 年度における減量化等の目標は、次のとおりとします。

平成 33 年度において、平成 22 年の排出量に対し約 20%の削減を目標とします。

（収集ごみ：352 g/人日、直接搬入ごみ：159 g/人日）

平成 29 年度以降、資源物である集団資源回収量や剪定枝、落ち葉・草は、現状推移に従うこととし、収集ごみ及び直接搬入ごみは、平成 22 年度の実績値に対し平成 33 年度までに 20%減量化することを目標とします。

2. 減量化後の推計
(1) 排出量の見込み

収集ごみ及び直接搬入ごみは、平成 22 年度の実績に対して平成 33 年度において 20% 減量、集団資源回収や剪定枝、落ち葉・草は、平成 29 年度以降、現状推移に従うとします。

表 4-1 減量化後の推計値

年度／区分		収集ごみ		直接搬入ごみ		集団資源回収ごみ		剪定枝		落ち葉・草		小型家電		その他		総排出量	
		現状維持	減量後	現状維持	減量後	現状維持	減量後	現状維持	減量後	現状維持	減量後	現状維持	減量後	現状維持	減量後	現状維持	減量後
実績	H15	25,968		13,534		9,991		754		710		-		-		50,957	
	H16	24,278		13,335		10,221		1,420		567		-		-		49,820	
	H17	24,873		13,708		10,098		2,016		689		-		-		51,383	
	H18	25,017		13,047		9,785		2,481		829		-		-		51,159	
	H19	24,427		13,098		9,457		2,738		895		-		-		50,615	
	H20	24,540	平成33年度	12,900	平成33年度	8,888		3,161		934		-		-		50,422	
	H21	24,278	までに平成	12,954	までに平成	8,390	平成29年度	3,588	平成29年度	614	平成29年度	-	平成29年度	-	平成29年度	49,824	
	H22	24,030	22年度に対	12,609	22年度に対	8,118	以降は現状	3,833	以降は現状	399	以降は現状	-	以降は現状	69	以降は現状	49,049	
	H23	24,196	し16%減量	12,509	し28%減量	7,967	推移と同様	3,943	推移と同様	372	推移と同様	-	推移と同様	51	推移と同様	49,038	
	H24	24,107		13,106		7,620		4,197		321		-		51		49,402	
	H25	23,656		13,354		7,265		4,071		271	54	-		46		48,716	
	H26	23,545		12,177		6,601		4,385		330	62	-		54		47,154	
	H27	23,716		10,589		6,055		4,720		339	57	-		58		45,535	
	H28	23,184		9,398		5,631		4,715		387	68	-		58		43,441	
予測	H29	23,236	22,611	10,851	9,374	6,192	6,192	4,943	4,943	398	398	57	57	57	57	45,734	43,632
	H30	23,097	21,982	10,612	9,250	6,072	6,072	5,051	5,051	397	397	57	57	57	57	45,343	42,846
	H31	23,021	21,316	10,402	9,209	5,912	5,912	5,173	5,173	398	398	57	57	57	57	45,020	42,122
	H32	22,877	20,612	10,193	9,060	5,776	5,776	5,266	5,266	396	396	57	57	57	57	44,622	41,224
	H33	22,778	19,895	9,948	8,987	5,652	5,652	5,369	5,369	396	396	57	57	57	57	44,257	40,413

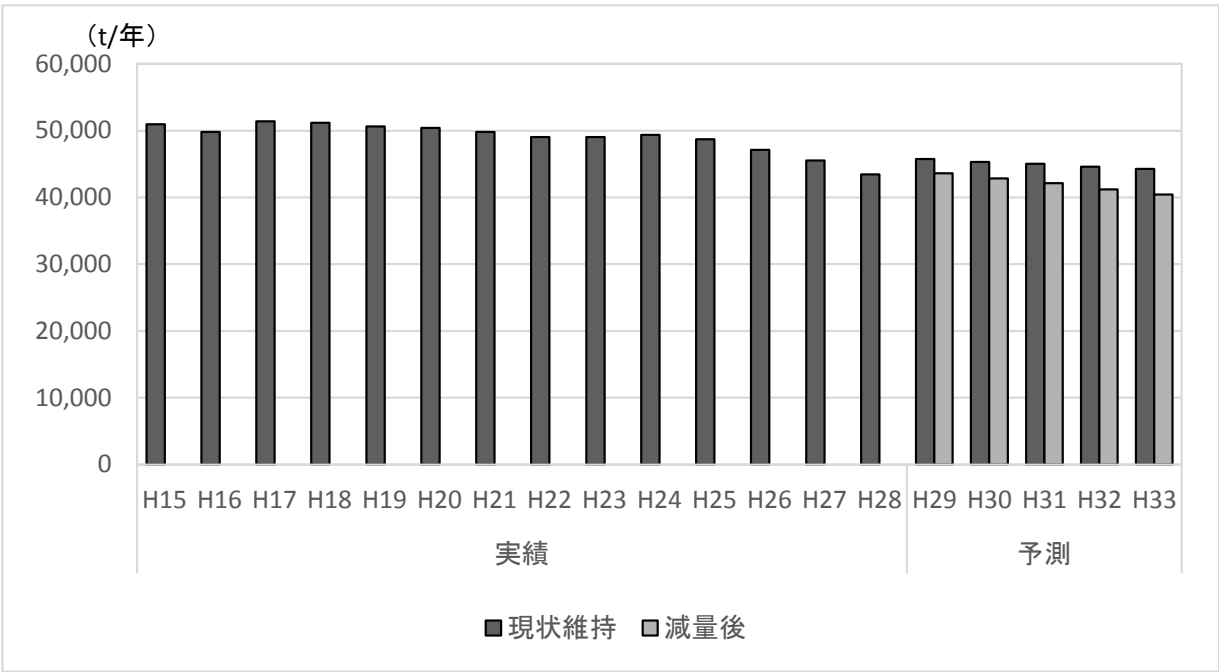


図 4-1 減量化後の推計

(2) 排出量及び原単位の内訳

1) 収集ごみ（家庭系ごみ）の内訳

収集ごみ量及び種類別原単位の内訳は、表4-2 に示したとおりで、平成 33 年度は 19,895 t (352g/人・日)と見込まれます。

表4-2 収集ごみ（家庭系ごみ）の内訳（減量化後）

年度／区分		収集ごみ		内訳							
				可燃ごみ		不燃ごみ		粗大可燃ごみ		粗大不燃ごみ	
		(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)
実績	H15	25,968	464	19,864	355	5,835	104	151	3	117	2
	H16	24,278	434	18,824	336	5,184	93	161	3	109	2
	H17	24,873	443	19,272	343	5,300	94	180	3	120	2
	H18	25,017	443	19,433	344	5,278	94	186	3	120	2
	H19	24,427	428	19,143	335	4,981	87	177	3	126	2
	H20	24,540	429	19,334	338	4,897	86	176	3	133	2
	H21	24,278	423	19,022	332	4,950	86	179	3	127	2
	H22	24,030	419	18,570	324	5,106	89	212	4	141	2
	H23	24,196	420	18,698	325	5,148	89	211	4	139	2
	H24	24,107	421	18,694	327	5,096	89	185	3	132	2
	H25	23,656	415	18,234	320	5,091	89	205	4	126	2
	H26	23,545	415	18,311	322	4,917	87	192	3	125	2
	H27	23,716	418	18,378	324	4,987	88	203	4	148	3
予測	H28	23,184	410	18,027	319	4,812	85	202	4	143	3
	H29	22,611	398	17,498	308	4,772	84	227	4	114	2
	H30	21,962	387	17,026	300	4,653	82	170	3	113	2
	H31	21,316	375	16,540	291	4,491	79	171	3	114	2
	H32	20,612	364	15,969	282	4,360	77	170	3	113	2
	H33	19,895	352	15,430	273	4,182	74	170	3	113	2

※予測の内訳は、平成24～28年度の実績割合の平均から算出した。

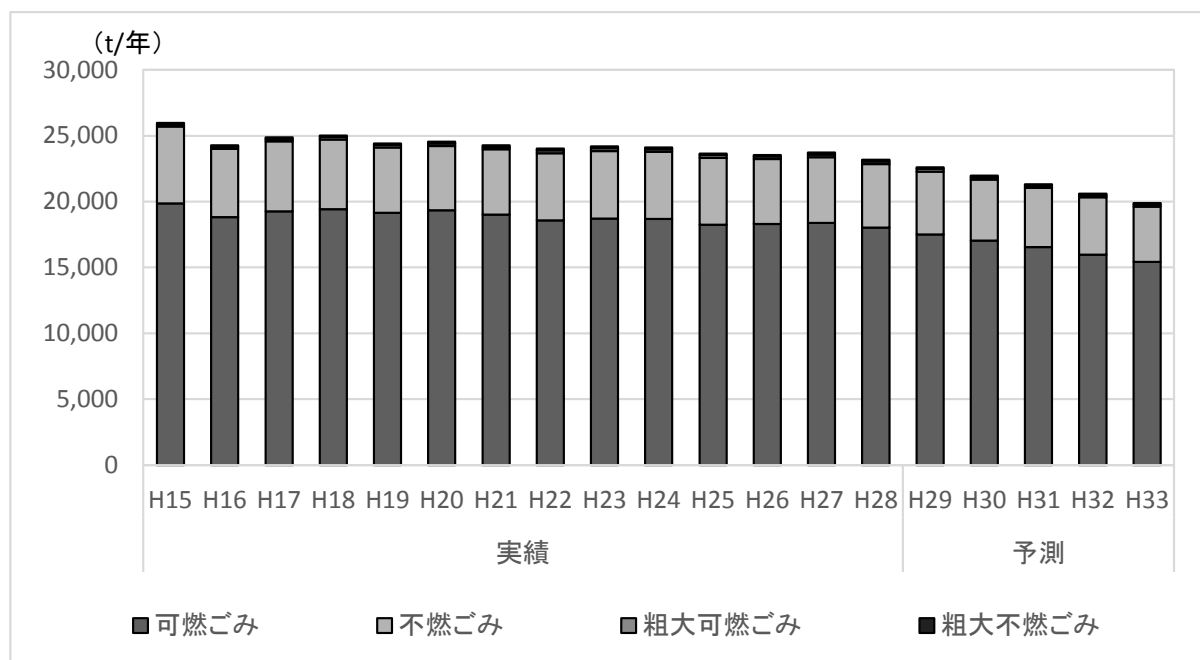


図4-2 収集ごみ（家庭系ごみ）の内訳(減量化後)

2) 直接搬入ごみ（事業系ごみ）の内訳

直接搬入ごみ量及び種類別原単位の内訳は、表4-3 に示したとおりで、平成 33 年度は 8,987 t (159g/人・日)と見込まれます。

表4-3 直接搬入ごみ（事業系ごみ）の内訳(減量化後)

年度／区分		直接搬入ごみ		内訳			
				可燃ごみ		不燃ごみ	
		(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)
実績	H15	13,534	242	12,601	225	933	17
	H16	13,335	238	12,576	225	759	14
	H17	13,708	244	12,800	228	908	16
	H18	13,047	231	12,228	217	819	15
	H19	13,098	229	12,288	215	809	14
	H20	12,900	225	12,101	211	799	14
	H21	12,954	226	12,035	210	919	16
	H22	12,609	220	11,735	205	874	15
	H23	12,509	217	11,645	202	864	15
	H24	13,106	229	12,204	213	902	16
	H25	13,354	234	12,495	219	860	15
	H26	12,177	214	11,545	203	632	11
	H27	10,589	186	9,948	175	641	11
	H28	9,398	166	8,716	154	682	12
予測	H29	9,374	165	8,806	155	568	10
	H30	9,250	163	8,683	153	567	10
	H31	9,209	162	8,641	152	568	10
	H32	9,060	160	8,494	150	566	10
	H33	8,987	159	8,422	149	565	10

※予測の内訳は、平成24～28年度の実績割合の平均から算出した。

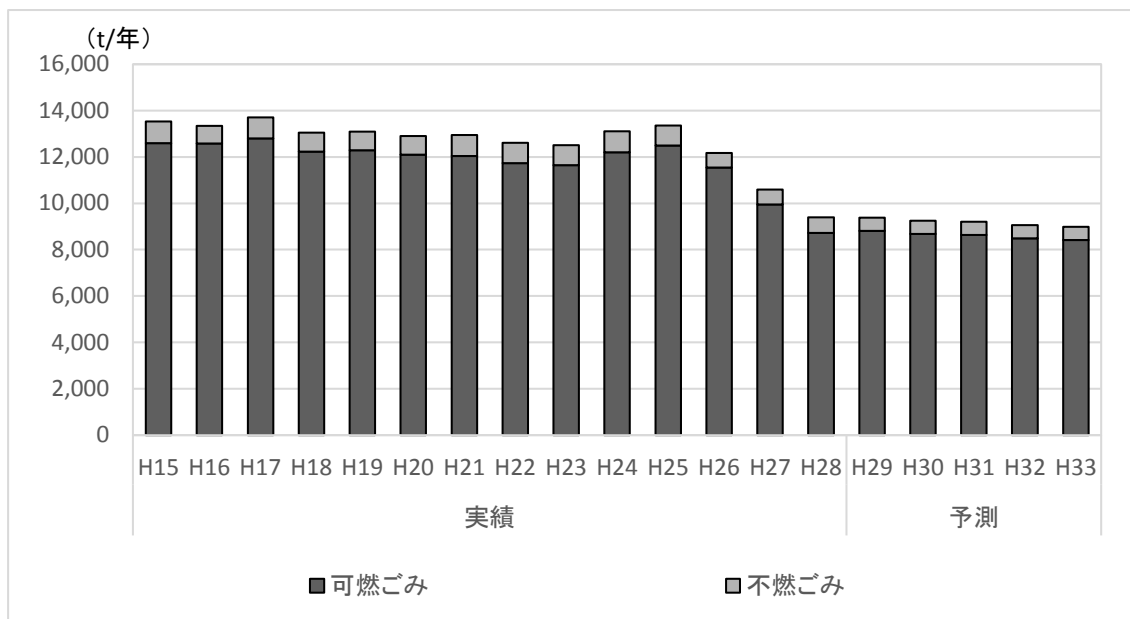


図4-3 直接搬入ごみ（事業系ごみ）の内訳(減量化後)

3) 集団資源回収の内訳

集団資源回収量及び種類別原単位の内訳は、表4-4 に示したとおりで、平成 33 年度は 5,652 t (100g/人・日)と見込まれます。

表4-4 集団資源回収の内訳(減量化後)

年度／区分		集团資源回収物		内訳											
				繊維類		紙類		金属類		びん類		空き缶		ペットボトル	
		(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)
実績	H15	9,991	178	469	8	6,842	122	503	9	1,188	21	675	12	315	6
	H16	10,221	183	493	9	7,029	126	535	10	1,165	21	637	11	363	6
	H17	10,098	180	505	9	6,972	124	528	9	1,109	20	625	11	359	6
	H18	9,785	173	528	9	6,657	118	529	9	1,110	20	595	11	367	7
	H19	9,457	166	520	9	6,411	112	475	8	1,120	20	547	10	383	7
	H20	8,888	155	491	9	5,935	104	433	8	1,122	20	528	9	378	7
	H21	8,390	146	507	9	5,460	95	449	8	1,111	19	496	9	366	6
	H22	8,118	142	511	9	5,189	91	438	8	1,134	20	477	8	370	6
	H23	7,967	138	533	9	5,056	88	458	8	1,102	19	446	8	371	6
	H24	7,620	133	486	8	4,830	84	444	8	1,079	19	418	7	363	6
	H25	7,265	127	452	8	4,577	80	445	8	1,054	18	390	7	346	6
	H26	6,601	116	394	7	4,066	72	423	7	1,036	18	361	6	321	6
	H27	6,055	107	380	7	3,619	64	406	7	1,012	18	334	6	305	5
	H28	5,631	100	343	6	3,325	59	387	7	964	17	319	6	293	5
予測	H29	6,192	109	398	7	3,691	65	398	7	1,023	18	341	6	341	6
	H30	6,072	107	397	7	3,577	63	397	7	1,021	18	340	6	340	6
	H31	5,912	104	398	7	3,411	60	398	7	1,023	18	341	6	341	6
	H32	5,776	102	396	7	3,285	58	396	7	1,019	18	340	6	340	6
	H33	5,652	100	396	7	3,165	56	396	7	1,017	18	339	6	339	6

※予測の内訳は、平成24～28年度の実績割合の平均から算出した。

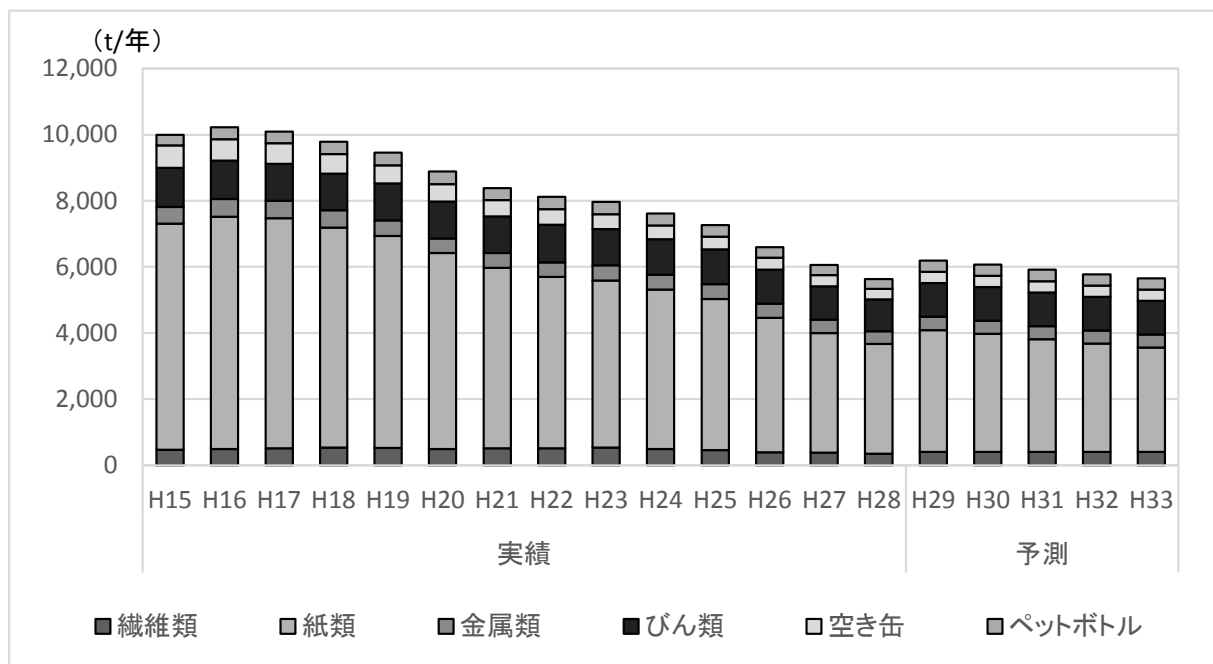


図4-4 集団資源回収の内訳(減量化後)

4) 剪定枝、落ち葉・草の内訳

剪定枝、落ち葉・草の量及び種類別原単位の内訳は、表4-5に示したとおりで、平成33年度は剪定枝が5,369t(95g/人・日)、落ち葉・草が396t(7g/人・日)と見込まれます。

表4-5 剪定枝、落ち葉・草の内訳(減量化後)

年度／区分		剪定枝		内訳				落ち葉・草		内訳			
				収集		持込				収集		持込	
		(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)
実績	H15	754	13	227	4	527	9	710	13	382	7	329	6
	H16	1,420	25	448	8	972	17	567	10	293	5	274	5
	H17	2,016	36	662	12	1,354	24	689	12	359	6	329	6
	H18	2,481	44	766	14	1,715	30	829	15	454	8	374	7
	H19	2,738	48	830	15	1,909	33	895	16	468	8	427	7
	H20	3,161	55	1,081	19	2,080	36	934	16	475	8	459	8
	H21	3,588	63	1,380	24	2,208	38	614	11	201	4	413	7
	H22	3,833	67	1,598	28	2,235	39	399	7	-	-	399	7
	H23	3,943	68	1,625	28	2,319	40	372	6	-	-	372	6
	H24	4,197	73	1,592	28	2,605	46	321	6	-	-	321	6
	H25	4,071	71	1,574	28	2,497	44	271	5	-	-	271	5
	H26	4,385	77	1,560	27	2,825	50	330	6	-	-	330	6
	H27	4,720	83	1,602	28	3,118	55	339	6	-	-	339	6
H28	4,715	83	1,582	28	3,134	55	387	7	-	-	387	7	
予測	H29	4,943	87	1,761	31	3,182	56	398	7	-	-	398	7
	H30	5,051	89	1,816	32	3,235	57	397	7	-	-	397	7
	H31	5,173	91	1,876	33	3,297	58	398	7	-	-	398	7
	H32	5,266	93	1,869	33	3,397	60	396	7	-	-	396	7
	H33	5,369	95	1,922	34	3,447	61	396	7	-	-	396	7

※予測の内訳は、平成24～28年度の実績割合の平均から算出した。

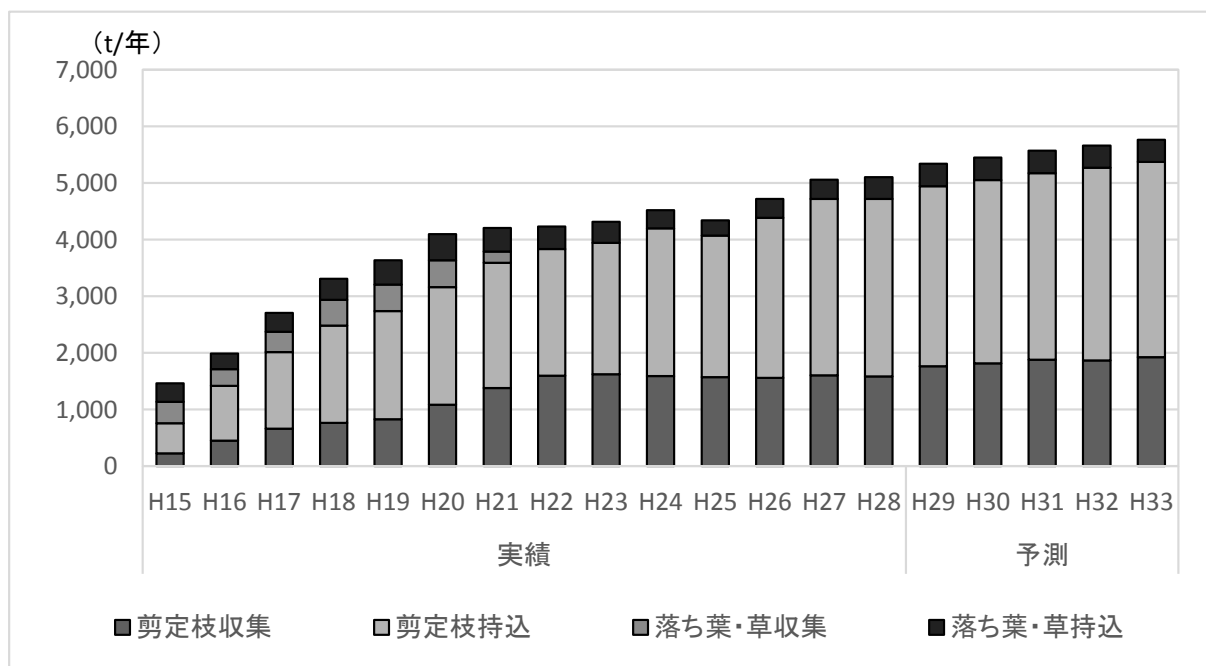


図4-5 剪定枝、落ち葉・草の内訳(減量化後)

(3) 処理内訳量の見込み

1) 焼却処理量の見込み

減量化後の焼却処理量は表4-6に示したとおりで、平成33年度は24,022tと見込まれます。

表4-6 焼却処理量の見込み(減量化後)

(t/年)

年度／区分		収集 可燃ごみ	収集粗大 可燃ごみ	直接搬入 可燃ごみ	焼却対象量
実績	H15	19,864	151	12,601	32,616
	H16	18,824	161	12,576	31,561
	H17	19,272	180	12,800	32,252
	H18	19,433	186	12,228	31,847
	H19	19,143	177	12,288	31,608
	H20	19,334	176	12,101	31,611
	H21	19,022	179	12,035	31,236
	H22	18,570	212	11,735	30,517
	H23	18,698	211	11,645	30,554
	H24	18,694	185	12,204	31,083
	H25	18,234	205	12,495	30,934
	H26	18,311	192	11,545	30,048
	H27	18,378	203	9,948	28,529
	H28	18,027	202	8,716	26,945
予測	H29	17,498	227	8,806	26,531
	H30	17,026	170	8,683	25,879
	H31	16,540	171	8,641	25,352
	H32	15,969	170	8,494	24,633
	H33	15,430	170	8,422	24,022

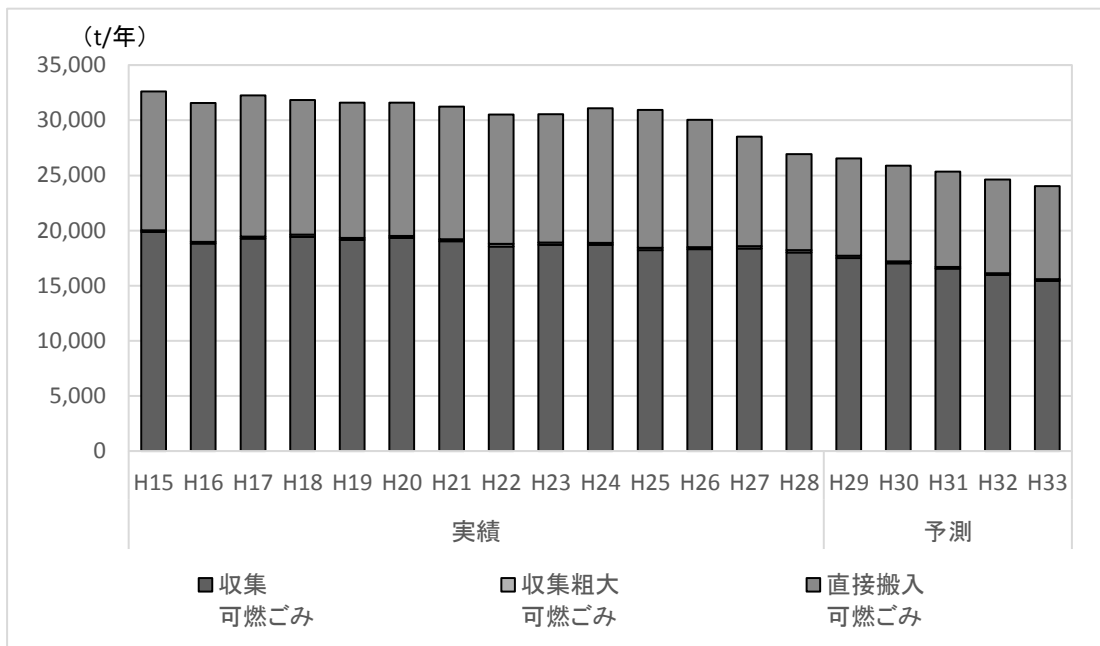


図4-6 焼却処理量の見込み(減量化後)

2) 破碎・選別処理量の見込み

減量化後の破碎・選別処理量は表4-7に示したとおりで、平成33年度は4,860t、と見込まれます。

表4-7 破碎・選別処理量の見込み(減量化後)

(t/年)

年度／区分		収集 不燃ごみ	収集粗大 不燃ごみ	直接搬入 不燃ごみ	破碎・選別 処理量
実績	H15	5,835	117	933	6,886
	H16	5,184	109	759	6,052
	H17	5,300	120	908	6,328
	H18	5,278	120	819	6,217
	H19	4,981	126	809	5,917
	H20	4,897	133	799	5,829
	H21	4,950	127	919	5,996
	H22	5,106	141	874	6,122
	H23	5,148	139	864	6,151
	H24	5,096	132	902	6,129
	H25	5,091	126	860	6,077
	H26	4,917	125	632	5,674
	H27	4,987	148	641	5,777
	H28	4,812	143	682	5,637
予測	H29	4,772	114	568	5,454
	H30	4,653	113	567	5,333
	H31	4,491	114	568	5,173
	H32	4,360	113	566	5,039
	H33	4,182	113	565	4,860

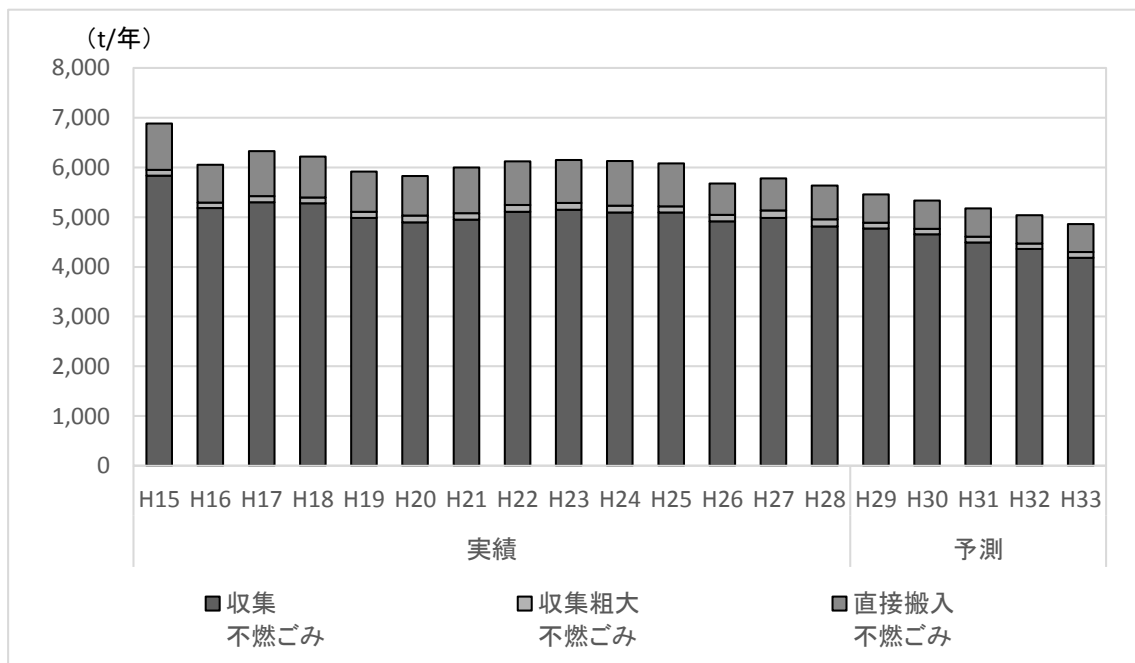


図4-7 破碎・選別処理量の見込み(減量化後)

3) 資源化処理量の見込み

減量化後に破砕・選別処理した後の資源化処理量の内訳は、表4-8 に示したとおりで、平成33年度は廃プラスチック以外の資源化が256t、廃プラスチックが1,301t、リサイクル展示品（不燃）が4t、小型家電（ピックアップ）が54t、資源化不適物が3,246tと見込まれます。

表4-8 資源化処理量の内訳見込み(減量化後)

(t/年)

年度／区分		資源化 (廃プラ除く)	廃プラの 資源化	リサイクル 展示品 (不燃)	小型家電 (ピックアップ)	資源化 不適物
実績	H15	549	1,951	18	0	4,367
	H16	569	1,851	21	0	3,611
	H17	560	1,877	20	0	3,870
	H18	530	1,919	15	0	3,754
	H19	487	1,909	15	0	3,506
	H20	467	1,887	13	0	3,470
	H21	455	1,923	15	0	3,603
	H22	132	3,702	12	0	2,277
	H23	131	3,872	17	0	2,132
	H24	126	3,637	17	0	2,349
	H25	355	1,678	7	64	3,717
	H26	303	1,024	3	60	4,262
	H27	279	1,754	2	61	3,625
	H28	265	1,659	5	69	3,635
予測	H29	287	1,460	4	61	3,643
	H30	281	1,427	4	59	3,562
	H31	272	1,385	4	58	3,455
	H32	265	1,349	4	56	3,366
	H33	256	1,301	4	54	3,246

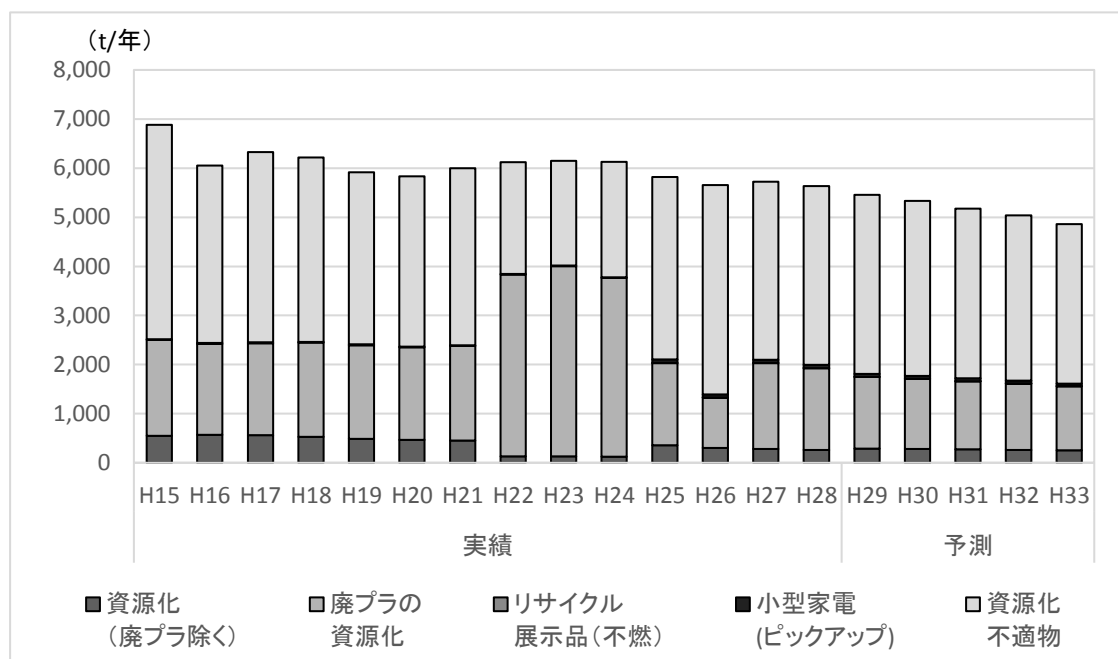


図4-8 資源化処理量の内訳見込み(減量化後)

4) 焼却残渣量の見込み

減量化後の焼却残渣量は表4-9に示したとおりで、平成33年度は2,097tと見込まれます。

表4-9 焼却残渣量の見込み(減量化後)

(t/年)

年度／区分		焼却対象量	焼却残渣量	エコセメント量
実績	H15	32,616	2,869	520
	H16	31,561	3,098	301
	H17	32,252	2,924	301
	H18	31,847	3,041	299
	H19	31,608	2,977	284
	H20	31,611	3,024	287
	H21	31,236	3,084	222
	H22	30,517	2,956	249
	H23	30,554	3,037	145
	H24	31,083	3,195	－
	H25	30,934	3,179	－
	H26	30,048	2,591	－
	H27	28,529	2,533	－
	H28	26,945	2,342	－
予測	H29	26,531	2,317	－
	H30	25,879	2,260	－
	H31	25,352	2,214	－
	H32	24,633	2,151	－
	H33	24,022	2,097	－

※焼却残渣のエコセメント化は、平成24年度から中止している。

5) 総資源化量、再生利用量の見込み

減量化後の破砕・選別処理後の資源化、集団資源回収量、剪定枝等の資源化、エコセメント等の総資源化量及び再生利用率は、表4-10に示したとおりで、平成33年度は総資源化量が13,172t、再生利用率が33%と見込まれます。

表4-10 総資源化量、再生利用率の見込み(減量化後)

年度／区分		集団資源 回収物 (t/年)	資源化 (廃プラ除く) (t/年)	廃プラ 資源化 (t/年)	リサイクル 展示品 (t/年)	剪定枝等 リサイクル (t/年)	エコセメント量 (t/年)	小型家電 (拠点回収) (t/年)	小型家電 (ピックアップ) (t/年)	その他 (t/年)	空き缶 回収機 (t/年)	総資源化量 (t/年)	再生利用率 (%)
実績	H15	9,991	549	1,951	18	1,464	520	-	-	-	190	14,684	29%
	H16	10,221	569	1,851	21	1,986	301	-	-	-	177	15,125	30%
	H17	10,098	560	1,877	20	2,705	301	-	-	-	114	15,676	31%
	H18	9,785	530	1,919	15	3,310	299	-	-	-	97	15,955	31%
	H19	9,457	487	1,909	15	3,633	284	-	-	-	110	15,895	31%
	H20	8,898	467	1,887	13	4,095	287	-	-	-	58	15,694	31%
	H21	8,390	455	1,923	15	4,202	222	-	-	-	52	15,258	31%
	H22	8,118	132	3,702	12	4,232	249	-	-	59	45	16,549	34%
	H23	7,967	131	3,872	17	4,316	145	-	-	51	30	16,528	34%
	H24	7,620	126	3,637	17	4,518	-	-	-	51	27	15,998	32%
	H25	7,265	355	1,678	17	4,341	-	54	64	46	18	13,838	28%
	H26	6,601	303	1,024	14	4,715	-	62	60	54	-	12,833	27%
	H27	6,055	279	1,754	14	5,059	-	57	61	58	-	13,338	29%
	H28	5,631	265	1,659	12	5,102	-	68	69	58	-	12,863	30%
予測	H29	6,192	287	1,460	15	5,341	-	57	61	57	-	13,485	31%
	H30	6,072	281	1,427	15	5,448	-	57	59	57	-	13,431	31%
	H31	5,912	272	1,385	15	5,571	-	57	58	57	-	13,342	32%
	H32	5,776	265	1,349	15	5,662	-	57	56	57	-	13,252	32%
	H33	5,652	256	1,301	15	5,765	-	57	54	57	-	13,172	33%

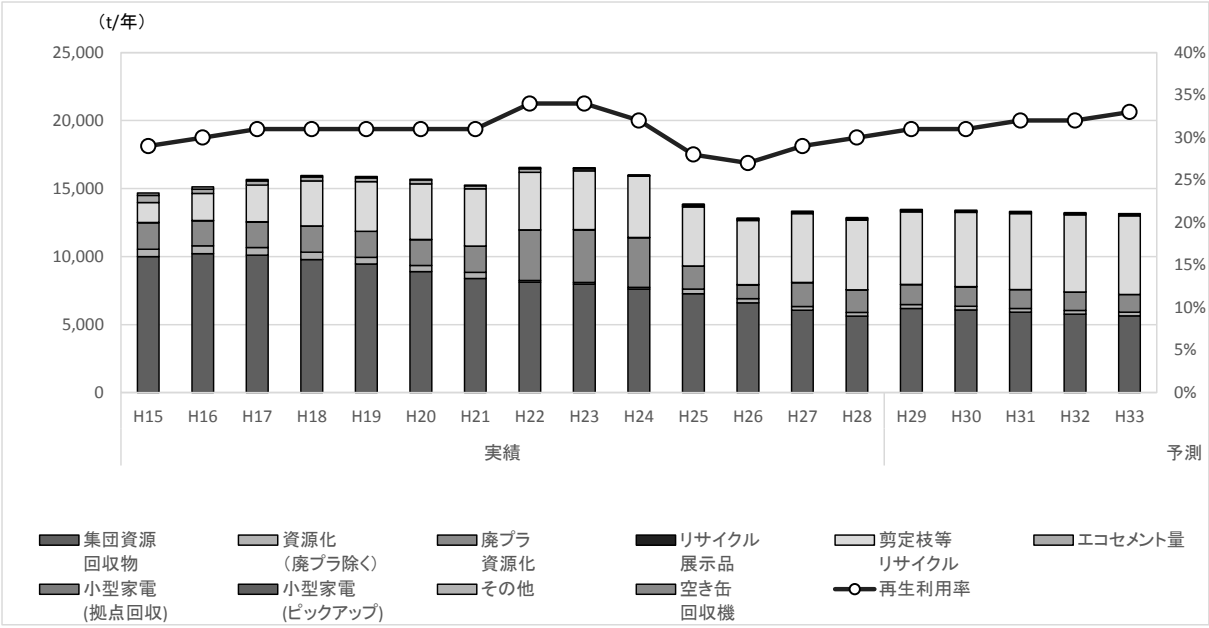


図4-9 総資源化量、再生利用率の見込み(減量化後)

6) 最終処分量の見込み

減量化後の最終処分量は、表4-11 に示したとおりで、平成 33 年度は 5,343t と見込まれます。

表4-11 最終処分量の見込み(減量化後)

(t /年)

年度／区分		資源化 不適物	エコセメント以外 の焼却残渣	最終処分量
実績	H15	4,367	2,869	7,236
	H16	3,611	3,098	6,709
	H17	3,870	2,924	6,794
	H18	3,754	3,041	6,795
	H19	3,506	2,977	6,483
	H20	3,470	3,024	6,493
	H21	3,603	3,084	6,687
	H22	2,277	2,956	5,233
	H23	2,132	3,037	5,169
	H24	2,349	3,195	5,543
	H25	3,717	3,179	6,896
	H26	4,262	2,591	6,853
	H27	3,625	2,533	6,158
	H28	3,635	2,342	5,976
予測	H29	3,643	2,317	5,960
	H30	3,562	2,260	5,822
	H31	3,455	2,214	5,669
	H32	3,366	2,151	5,517
	H33	3,246	2,097	5,343

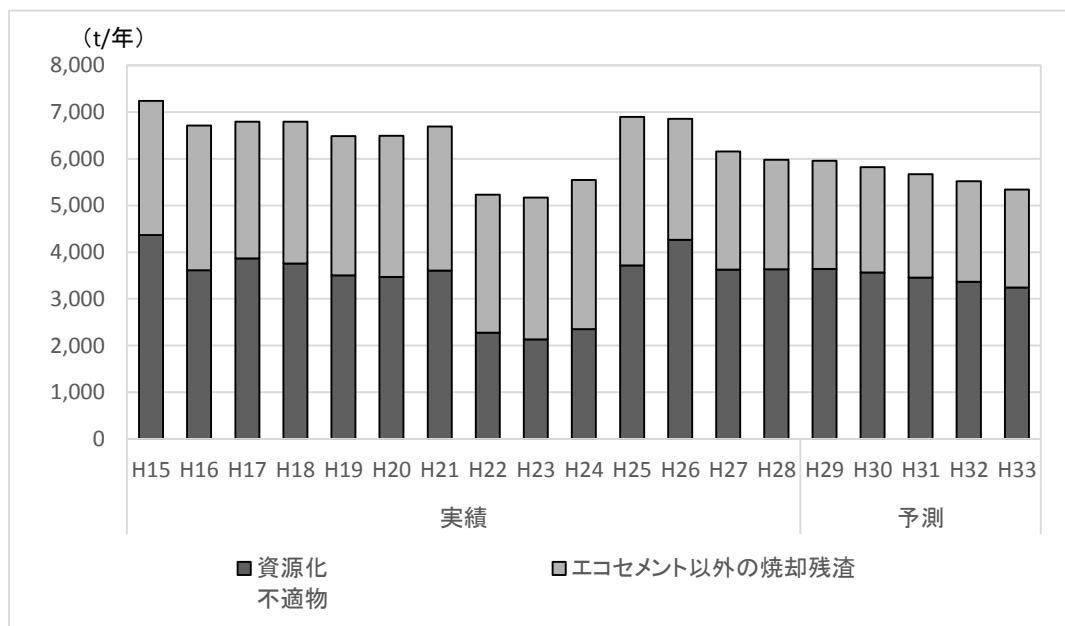


図4-10 最終処分量の見込み(減量化後)

3. 排出量（減量化後）の見込み

減量化後の排出量は、表4-12 に示したとおりになります。

平成 33 年度は、収集ごみ量が 19,895 t、直接搬入ごみ量が 8,987 t、集団資源回収量が 5,652 t、剪定枝が 5,369 t、落ち葉・草が 396 t、小型家電が 57 t、その他が 57 t と見込まれます。

表 4-12 排出量の見込み（減量化後）

年度		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
人口（人）		152,952	153,375	153,905	154,630	156,083	156,876	157,183	157,033	157,363	156,725	156,124	155,610	155,131	154,772	155,646	155,477	155,309	155,141	154,856
年間日数（日）		366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
収集ごみ（家庭系ごみ）	（t/年）	25,968	24,278	24,873	25,017	24,427	24,540	24,278	24,030	24,196	24,107	23,656	23,545	23,716	23,184	22,611	21,962	21,316	20,612	19,895
	（g/人日）	464	434	443	443	428	429	423	419	420	421	415	415	418	410	398	387	373	364	352
	可燃ごみ	19,864	18,824	19,272	19,433	19,143	19,334	19,022	18,570	18,698	18,694	18,234	18,311	18,378	18,027	17,498	17,026	16,540	15,969	15,430
	（g/人日）	355	336	343	344	335	338	332	324	325	327	320	322	324	319	308	300	291	282	273
	不燃ごみ	5,835	5,184	5,300	5,278	4,981	4,897	4,950	5,148	5,096	5,091	4,917	4,987	4,812	4,772	4,653	4,491	4,360	4,182	
	（g/人日）	104	93	94	94	87	86	86	89	89	89	89	87	88	86	84	82	79	77	74
	粗大可燃	151	161	180	186	177	176	179	212	211	185	205	192	203	202	227	170	171	170	170
	（g/人日）	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	4	3	4	4	4	3	3	3	3
	粗大不燃	117	109	120	120	126	133	127	141	139	132	126	125	148	143	114	113	114	113	113
	（g/人日）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2
直接搬入ごみ（事業系ごみ）		13,534	13,335	13,708	13,047	13,098	12,960	12,964	12,609	12,509	13,106	13,354	12,177	10,589	9,398	9,374	9,250	9,209	9,060	8,987
（g/人日）		242	238	244	231	229	225	226	220	217	229	234	214	186	166	165	163	162	160	159
不燃ごみ	（t/年）	12,601	12,576	12,800	12,228	12,298	12,191	12,053	11,735	11,645	12,204	12,495	11,545	9,949	8,718	8,806	8,683	8,611	8,494	8,422
	（g/人日）	225	225	228	217	215	211	210	205	202	213	219	203	175	154	155	153	152	150	149
	（t/年）	933	759	908	819	809	799	919	874	864	902	860	632	641	682	568	567	568	566	563
	（g/人日）	17	14	16	15	14	14	16	15	15	16	15	11	11	12	10	10	10	10	10
集団資源回収量		9,991	10,221	10,098	9,785	9,457	8,398	8,138	7,967	7,620	7,265	6,601	6,055	5,631	6,192	6,072	5,912	5,776	5,652	
（g/人日）		178	183	180	173	166	158	146	142	138	133	127	116	107	100	109	107	104	102	100
繊維類	（t/年）	469	493	505	528	520	491	507	511	533	486	452	394	380	345	398	397	398	396	396
	（g/人日）	8	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	7	7	6	7	7	7	7	7
紙類	（t/年）	6,842	7,029	6,972	6,457	6,411	5,935	5,469	5,189	5,056	4,830	4,577	4,066	3,619	3,325	3,691	3,577	3,411	3,283	3,165
	（g/人日）	122	126	124	118	112	104	95	91	88	84	80	72	64	59	65	63	60	58	56
金属類	（t/年）	503	535	528	529	475	433	449	438	458	444	443	423	406	387	398	397	398	396	396
	（g/人日）	9	10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7
びん類	（t/年）	1,188	1,165	1,109	1,110	1,120	1,122	1,111	1,134	1,102	1,079	1,054	1,036	1,012	964	1,023	1,021	1,023	1,019	1,017
	（g/人日）	21	21	20	20	20	20	20	19	19	19	18	18	18	17	18	18	18	18	18
空き缶	（t/年）	675	637	625	595	547	528	496	477	446	418	390	361	334	319	341	340	341	340	339
	（g/人日）	12	11	11	11	10	9	9	8	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
ペットボトル	（t/年）	315	363	359	367	383	378	366	370	371	363	346	321	305	293	341	340	341	340	339
	（g/人日）	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6	6	5	5	5	6	6	6	6	6
剪定枝、落ち葉・草		1,464	1,986	2,705	3,310	3,633	4,095	4,202	4,232	4,316	4,518	4,341	4,715	5,059	5,102	5,341	5,448	5,571	5,662	5,765
（g/人日）		26	35	48	59	64	72	73	74	73	79	76	83	89	90	94	96	98	100	102
剪定枝	（t/年）	754	1,420	2,016	2,481	2,738	3,161	3,588	3,833	3,943	4,197	4,071	4,385	4,720	4,716	4,943	5,051	5,173	5,266	5,369
	（g/人日）	13	25	36	44	48	55	63	67	68	73	71	77	83	83	87	89	91	93	95
	収集	227	448	662	766	830	1,081	1,380	1,598	1,625	1,592	1,574	1,560	1,602	1,582	1,761	1,816	1,876	1,869	1,922
	（g/人日）	4	8	12	14	15	19	24	28	28	28	28	27	28	28	31	32	33	33	34
	持込	527	972	1,354	1,715	1,909	2,080	2,208	2,235	2,319	2,605	2,497	2,825	3,118	3,134	3,182	3,235	3,297	3,397	3,447
	（g/人日）	9	17	24	30	33	36	38	39	40	46	44	50	55	55	56	57	58	60	61
落ち葉・草	（t/年）	710	567	689	829	895	934	614	399	372	321	271	330	339	387	398	397	398	396	396
	（g/人日）	13	10	12	15	16	11	7	6	6	5	4	6	6	7	7	7	7	7	7
	収集	382	293	359	454	468	475	201	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	（g/人日）	7	5	6	8	8	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
持込	（t/年）	329	274	329	374	427	459	413	399	372	321	271	330	339	387	398	397	398	396	396
	（g/人日）	6	5	6	7	7	7	7	7	6	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7
小型家電		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	62	57	68	57	57	57	57	57
（g/人日）		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1
その他		-	-	-	-	-	-	-	59	51	51	46	54	58	58	57	57	57	57	57
（g/人日）		-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総排出量		50,997	49,829	51,383	51,199	50,615	50,422	49,824	49,049	49,038	49,402	48,716	47,154	45,535	43,441	43,632	42,840	42,122	41,224	40,413
（g/人日）		910	890	915	906	896	891	868	856	851	864	855	830	802	760	768	755	741	728	715

（４）目標値に対する結果のまとめ

減量化後の推計値を目標値と比較すると、表 4-13 のとおりになります。

平成 28 年度実績において、平成 22 年度と比較すると総排出量は 11.4%減少、再生利用率は 4 ポイント減少、最終処分量は 14.2%増加しております。

平成 33 年度において、平成 22 年度と比較すると総排出量は 17.6%減少、再生利用率は 1 ポイント減少、最終処分量は 2.1%増加することになります。

表 4-13 目標値に対する結果のまとめ

項目	平成22年度	平成28年度	平成33年度
総排出量	49,049 －	43,441 (11.4%減少)	40,413 (17.6%減少)
収集ごみ	24,030	23,184	19,895
直接搬入ごみ	12,609	9,398	8,987
集団資源回収	8,118	5,631	5,652
剪定枝等	4,232	5,102	5,765
小型家電	－	68	57
その他	59	58	57
再生利用量	16,549	12,863	13,172
再生利用率	34%	30%	33%
最終処分量	5,233 －	5,976 (14.2%増加)	5,343 (2.1%増加)

※（）内は平成22年度比

3. 焼却処理施設

(1) 焼却処理施設の規模

減量化後の焼却処理対象量は、平成 33 年度で 24,022 t と見込まれます。これは、1 日に換算すると 65.81 t /日となります。

新施設を建設する場合は全連続式となることから、「ごみ処理施設整備の計画・設計要領」(社)全国都市清掃会議(H11.8)に示しているように、年間の実稼働率は 280 日(年間停止日 85 日)を 365 で除して算出し、調整稼働率は 0.96 となっていることから、施設能力に換算すると次のようになります。

$$\begin{aligned} \text{施設能力} &= \text{計画年間日平均処理量} \div \text{実稼働率} \div \text{調整稼働率} \\ &= 65.81(\text{t}) \div 280/365(\text{日}) \div 0.96 \\ &= 89.36 \div 90(\text{t/日}) \end{aligned}$$

となります。

※以上の結果から、新清掃工場の焼却処理施設の規模 95 t /日は、本計画内に達成できる見込みとなります。

項 目	平成 22 年度	平成 28 年度	平成 33 年度
総 排 出 量	49,049t	43,441t (11.4%減少)	40,413t (17.6%減少)
可燃ごみ	30,517t	26,945t	24,022 t
不燃ごみ	6,122t	5,637t	4,860t
集団資源回収	8,118t	5,631t	5,652t
剪定枝等	4,232t	5,102t	5,765t
小型家電	—	68t	57t
その他	59t	58t	57t
再 生 利 用 量	16,549t	12,863t (22.3%減少)	13,172t (20.4%減少)
最 終 処 分 量	5,233t	5,976t (14.2%増加)	5,343t (2.1%増加)

【資料2】 廃棄物行政の歩み

年 号	国	市	事 項	
昭和 25 年(1950 年) 5 月	○	○	県内8番目の市として「野田市」誕生	
昭和 29 年(1954 年)		○	「清掃法」施行	
		○	清掃事業を直営事業として開始	
昭和 30 年(1955 年)		○	「野田市清掃条例」公布、衛生協力会発足	
昭和 31 年(1956 年)		○	共同ゴミ箱を順次撤廃	
○戦後の復興期				
戦後、野田市のごみの収集は、何人かの民間の人達で行われていましたが、昭和 29 年の「清掃法」施行を契機に、野田市においても清掃事業を直営事業として実施することとなりました。 しかしながら、1960 年代までは市内の一部の地域（旧野田町と柳沢、宮崎、中根）でしたので、市がごみとして収集する量は、決して多いものではありませんでした。 昭和 32 年、上花輪太子堂に市の最初のごみ焼却炉が稼働開始されてからは、ごみの大半は焼却に切り替えられました。				
昭和 32 年(1957 年) 6 月	○	○	上花輪にじん芥焼却場完成	
昭和 40 年(1965 年)		○	ステーション方式の発端(100mに 1, 2 か所)	
		○	ポリバケツ定時収集方式開始	
昭和 43 年(1968 年)		○	三ツ堀に焼却場建設を決定	
昭和 44 年(1969 年)		○	ごみ収集無料化	
		○	焼却場建設特別委員会発足	
昭和 45 年(1970 年) 12 月		○	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律公布」 (同年 9 月施行)	
昭和 46 年(1971 年) 4 月	○	○	三ツ堀に焼却場完成	
○高度成長から石油ショックまで				
大量生産・大量消費の時代が到来し、生活水準が高まったことから、野田市においても 1 世帯当たりのごみの収集量が大幅に上昇しました。 昭和 46 年には三ツ堀の焼却場が稼働開始となりましたが、当時、全国的な傾向であった燃えないごみや粗大ごみが急増したことにより、ごみの分別が大きな問題となってきました。				
昭和 47 年(1972 年)		○	市内全域で不燃物収集を開始(月1回)	
昭和 49 年(1974 年)		○	収集方式の変更(一般ごみ週2回、不燃物週1回、粗大ごみ月1回)	
昭和 53 年(1978 年) 4 月		○	「野田市資源再生利用促進助成金交付要綱」施行	
		○	資源再利用運動(リサイクル運動)の取組み決定	
昭和 56 年(1981 年) 7 月	○	○	「野田市清掃施設建設に伴う環境整備等連絡調整会議設置規程」施行	

年 号	国	市	事 項
昭和 59 年(1984 年) 9 月	○	○	三ツ堀の現清掃工場試運転開始
昭和 60 年(1985 年) 7 月		○	「野田市清掃工場等環境保全協議会設置要綱」施行
平成 3 年(1991 年) 10 月		○	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」改正
平成 4 年(1992 年) 12 月		○	「野田市廃棄物減量等推進審議会条例」施行
平成 5 年(1993 年) 1 月		○	野田市廃棄物減量等推進審議会委員委嘱(29 名)
		○	野田市廃棄物減量等推進審議会へ諮問
平成 6 年(1994 年) 5 月		○	野田市廃棄物減量等推進審議会から答申
平成 7 年(1995 年) 4 月		○	「野田市廃棄物の処理及び再利用に関する条例」施行
		○	指定ごみ袋制度及び粗大ごみの有料化制度実施
6 月		○	「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」(容器包装リサイクル法)制定公布(平成 9 年 4 月施行)
11 月		○	不燃物処理施設が三ツ堀に完成
		○	空き缶回収事業(空き缶回収機)を開始
○ごみの減量化に向けた新たな取り組み 野田市の一人一日当たりのごみの排出量は、平成 6 年度には、近隣自治体より 20%以上も上回る約 1 kg ありました。市内の最終処分場が無くなり、市外の民間最終処分場に処分を委託していたため、ごみの減量化が最大の課題でした。 平成 7 年度に「指定ごみ袋制度導入」と「粗大ごみの有料化」を実施したことにより、大幅な減量化が図られました。			
平成 8 年(1996 年) 3 月		○	「野田市廃棄物減量基金の設置、管理及び処分に関する条例」施行
4 月		○	「野田市廃棄物減量等推進員会議設置要綱」施行
		○	野田市廃棄物減量等推進員制度を導入(171 名)
平成 9 年(1997 年) 4 月		○	ごみ減量努力に対する報奨制度(トレペ交換)開始
		○	指定ごみ袋配布枚数の変更(120 枚から 130 枚へ)
		○	紙おむつ対策の実施
6 月		○	粗大ごみ戸別収集手数料改定(500 円→520 円)
平成 10 年(1998 年) 4 月		○	搬入手数料の改定(10 kg まで無料、10 kg まで毎に 150 円)
6 月	○		「特定家庭用機器再商品化法」(家電リサイクル法)公布(平成 13 年 4 月施行)
9 月		○	「野田市生ごみ堆肥化装置購入助成金交付規則」施行

年 号	国	市	事 項
10 月		○	「野田市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例」施行
平成 12 年(2000 年) 4 月	○		「容器包装リサイクル法」完全施行
		○	船形に「野田市堆肥センター」が稼働
		○	みどりの収集受付開始
		○	市制施行 50 周年
6 月	○		「循環型社会形成推進基本法公布」 (平成 13 年 1 月完全施行)
平成 13 年(2001 年) 4 月	○		「資源の有効な利用の促進に関する法律」(資源有効利用促進法)完全施行
	○		「家電リサイクル法」完全施行
	○		家電4品目を粗大ごみから除外
	○		「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」 (グリーン購入法)完全施行
12 月	○		廃棄物減量等推進員(地区代表者)による市内不法投棄パトロール開始
平成 14 年(2002 年) 3 月	○		野田市一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)策定
5 月	○		「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)完全施行
平成 15 年(2003 年) 3 月	○		「資源の有効な利用の促進に関する法律」(資源有効利用促進法)の省令改正 ※家庭系パソコンがメーカー等によるリサイクル対象に追加
6 月	○		野田市と関宿町が合併。人口 153,353 人。 面積 103.54 平方キロメートルの新「野田市」誕生
		○	ごみ出しルールは野田市方式を採用
		○	「野田市関宿クリーンセンター公害対策基金条例」施行
		○	「野田市清掃工場等環境保全協議会設置条例」施行
○関宿町との合併 平成 15 年 6 月、旧関宿町との合併により、野田市には、可燃ごみの焼却施設が清掃工場と関宿クリーンセンターの 2 か所となりました。 なお、合併時の調整により、旧関宿区域については、可燃ごみは従来どおり関宿クリーンセンターで処理し、不燃ごみは野田市不燃物処理施設にて処理することとなりました。			

年 号	国	市	事 項
平成 16 年(2004 年) 7 月		○	野田市ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援事業の開始
9 月		○	不法投棄監視システム(監視カメラ設置)開始
平成 17 年(2005 年) 1 月	○		「自動車リサイクル法」完全施行
4 月		○	臨時資源回収所設置(市内2か所)
平成 18 年(2006 年) 6 月	○		「改正容器リサイクル法」公布
12 月	○		「改正容器リサイクル法」一部施行、新基本方針公表、判断基準省令公布
平成 19 年(2007 年) 4 月		○	粗大ごみ処理券、市内 60 店舗で販売開始
6 月	○		「改正食品リサイクル法」公布
12 月	○		「改正食品リサイクル法」施行、基本方針公表、判断基準等省令公布
平成 20 年(2008 年) 8 月		○	関宿クリーンセンターの裁判和解成立 (稼働期限 平成 26 年 7 月 14 日)
平成 21 年(2009 年) 1 月		○	中里工業団地の工場跡地を新清掃工場建設予定地に選定し、地元中里上自治会役員に説明(以降、説明会や話し合いを開始)
○新清掃工場建設に向けて 稼働期限が地元との和解により平成 26 年 7 月までとなっている関宿クリーンセンターと、老朽化による建て替えが早晚必要となる清掃工場について、両者を一体整備する新清掃工場の建設は、市の喫緊の課題となりました。 そこで、市は、平成 21 年 1 月、中里工業団地の工場跡地を建設予定地に選定し、地元自治会に建設に対する理解を求めるため、説明会や話し合いを開始しました。			
7 月		○	空き缶回収機、市内4か所新機種に移行
平成 22 年(2010 年) 3 月		○	三ツ堀の不燃物処理施設稼働停止
		○	不燃物仮置場稼働開始
6 月		○	目吹1区自治会と新不燃物処理施設建設に関する協定書締結
平成 23 年(2011 年) 1 月		○	中里工業団地の工場跡地を一度白紙撤回、当地区も含めた市内全域からの新清掃工場建設候補地の選定に方針転換
3 月		○	「野田市新不燃物処理施設建設工事請負契約の締結」議案可決(平成 25 年 4 月稼働予定)

年 号	国	市	事 項
7 月		○	「野田市新清掃工場建設候補地選定審議会条例」施行
8 月		○	野田市新清掃工場建設候補地選定審議会委員委嘱 32 名(委嘱後 1 名辞任)
10 月		○	第 1 回野田市新清掃工場建設候補地選定審議会開催
		○	新不燃物処理施設、建設工事着手
○野田市新清掃工場建設候補地選定審議会スタート 建設予定地の地元自治会から理解が得られなかったことから、平成 23 年 1 月、市は現候補地を一度白紙撤回し、市内全域から改めて新清掃工場の建設候補地を選定していくこととしました。 そこで、全市民的見地から候補地選定を行うため、「野田市新清掃工場建設候補地選定審議会」を設置し、市は審議会に対し、建設候補地として最適な土地の選定のほか、選定に必要な選定基準や処理方式などを諮問しました。			
平成 24 年(2012 年) 3 月		○	野田市一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)策定
8 月	○		「小型家電リサイクル法」公布
平成 25 年(2013 年) 3 月		○	野田市リサイクルセンター稼働開始
4 月	○		「小型家電リサイクル法」施行
		○	小型家電回収開始(毎月第 4 日曜日、市内 2 カ所)
9 月		○	野田市廃棄物減量等推進審議会条例の一部改正
		○	野田市廃棄物減量等推進員会議設置要綱の一部改正
○野田市廃棄物減量等推進審議会再スタート 市では、平成 24 年 3 月に野田市一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)を策定しました、この計画では、1 人 1 日当たりのごみ排出量を平成 22 年度を基準に 33 年度までに 3 割削減の 447 グラムとすることを目標としました。この目標達成には計画の進行管理を迅速、適正に行う必要があるため、野田市廃棄物減量等推進審議会を再設置して計画に掲げる 4 つの重点施策の具体的な実施方法や実施時期などを諮問しました。			
10 月		○	野田市廃棄物減量等推進審議会委員委嘱(30 名)
		○	野田市廃棄物減量等推進審議会へ諮問
12 月		○	空き缶回収事業(空き缶回収機)を終了
平成 26 年(2014 年) 1 月		○	野田市廃棄物減量等推進審議会から第 1 次答申
3 月		○	野田市廃棄物の処理及び再利用に関する規則の一部改正
		○	ごみ減量努力に対する報奨制度(トレベ交換)の廃止
4 月		○	指定ごみ袋配布枚数の変更(130 枚から 120 枚へ)
		○	粗大ごみ戸別収集手数料改定(520 円→540 円)
平成 27 年(2015 年) 1 月		○	野田市廃棄物減量等推進審議会から第 2 次答申
4 月		○	野田市粗大ごみ運び出し収集事業の開始

年 号	国	市	事 項
		○	搬入手数料の改定(10 kgまでの無料区分廃止、家庭系 10kg まで毎に 135 円、事業系 10kg まで毎に 270 円)
		○	清掃工場の展開検査の開始
		○	資源物の持ち去り行為の禁止(30 万円以下の罰則規定の制定)
平成 28 年(2016 年)		○	野田市廃棄物減量等推進審議会から第 3 次答申
		○	生ごみ堆肥化装置購入助成制度の拡充(対象者、対象機器、助成金等の拡充)
		○	ダンボールコンポスト初心者講座の開催
		○	ダンボールコンポストフォローアップ講座の開催
平成 29 年(2017 年)		○	野田市廃棄物減量等推進審議会から第 4 次答申
		○	乳幼児、里帰り出産、障がい者、高齢者世帯の紙おむつ対策の実施(容量、交付枚数の変更)
		○	外国人版野田市のごみの出し方資源の出し方の発行(英語版、中国語版、タガログ語版、ベトナム語版、韓国朝鮮語版)
		○	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技組織委員会主催「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」参加(市内 12 カ所に回収箱設置)
		○	平成 29 年度第 2 回野田市廃棄物減量等推進審議会へ諮問(一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)の中間見直し)
平成 30 年(2018 年)		○	野田市廃棄物減量等推進審議会から第 5 次答申

【資料3】 土地利用状況

(1) 野田市の面積

面 積 103.55 km² (平成29年4月1日現在)

(2) 都市計画区分

(平成29年9月5日現在)

区 分	野田都市計画区域	
	面積 (km ²)	比率 (%)
市街化区域	約 23.95	約 23.13
第一種低層住居専用地域	約 7.27	約 7.02
第二種低層住居専用地域	約 0.06	約 0.06
第一種中高層住居専用地域	約 4.33	約 4.18
第二種中高層住居専用地域	約 0.19	約 0.18
第一種住居地域	約 4.68	約 4.52
第二種住居地域	約 1.00	約 0.97
準住居地域	約 0.34	約 0.33
近隣商業地域	約 0.70	約 0.68
商業地域	約 0.30	約 0.29
準工業地域	約 1.23	約 1.19
工業地域	約 1.54	約 1.49
工業専用地域	約 2.31	約 2.23
市街化調整区域	約 79.59	約 76.87
合 計	約 103.54 ※	

※面積は、都市計画決定数値

(3) 地目別面積

区 分			非課税地積（㎡）	評価総地積（㎡）	合計（㎡）	比率（％）
田	一般田		—	12,880,080	12,880,080	12.4
	宅地介在田		—	35,233	35,233	0.0
畑	一般畑		—	16,591,608	16,591,608	16.0
	宅地介在畑		—	857,793	857,793	0.8
宅地	住宅用地	小規模住宅	—	9,474,480	9,474,480	—
		一般住宅	—	5,689,813	5,689,813	—
	商業地等（非住宅用地）		—	8,223,008	8,223,008	—
	計		996,692	23,387,301	24,383,993	23.5
池沼			89,563	206,090	295,653	0.3
山林	一般山林		254,413	5,160,537	5,414,950	5.2
	宅地介在山林等		10,011	374,204	384,215	0.4
原野			17,820	104,951	122,771	0.1
雑種地	ゴルフ場の用地		175,326	3,796,379	3,971,705	—
	遊園地等の用地		—	97,421	97,421	—
	鉄軌道用地		1,865	248,037	249,902	—
	その他の雑種地		930,521	6,745,325	7,675,846	—
	計		1,107,712	10,887,162	11,994,874	11.6
その他			30,588,830	0	30,588,830	29.5
合計			33,065,041	70,484,959	103,550,000	100

資料：概要調書（平成29年1月1日現在）

野田市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）

平成 30 年 3 月発行

野田市環境部清掃計画課

野田市鶴奉 7 番地の 1

電話 04-7125-1111（代表）